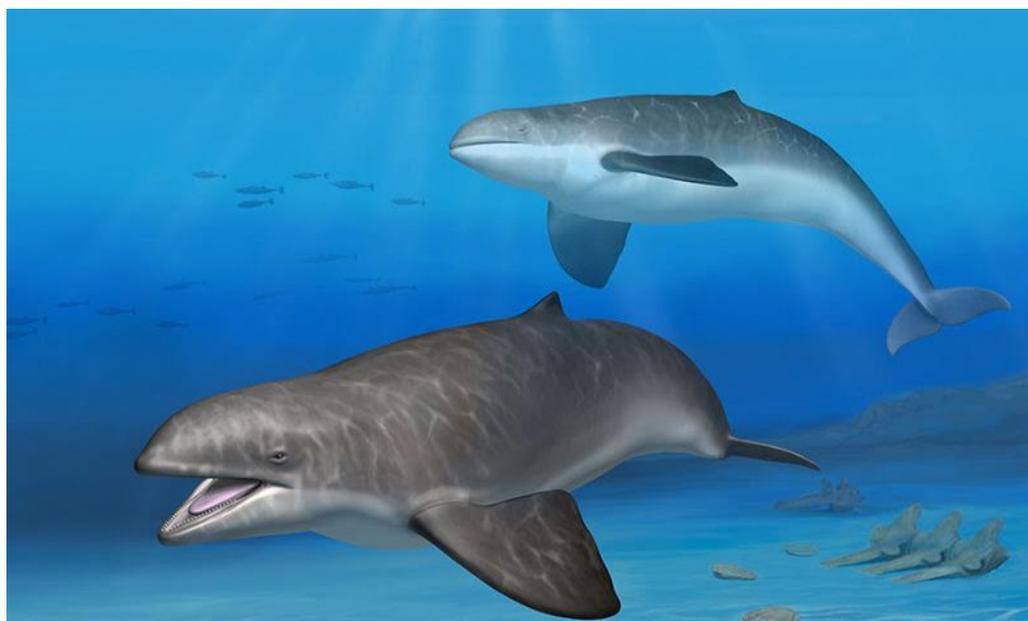


平成 30 年度 北海道文化財年報



「ヌマタネズミイルカ化石復元イラスト(Tanaka and Ichishima (2016)より。新村龍也学芸員(足寄動物化石博物館)作成)」



「姥神大神宮渡御祭」(山車集結の様子)



「姥神大神宮渡御祭」(町内巡行の様子)

平成 31 年 6 月

北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を多くの人々が共有することが大切です。北海道教育委員会では、文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、文化財に親しむ機会の提供や多様な情報の発信などを通して、文化財の保存・活用に取り組んでいます。

この年報では、「北海道八千代A遺跡出土品」、「旧相馬家住宅」、「チャシコツ岬上遺跡」、など、新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組、北海道文化財保護強調月間中の事業、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

この年報を御活用いただき、文化財をより身近に感じていただければ幸いです。

●この文化財年報に関するお問合せ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/index.htm>

【表紙の写真】

表紙の写真2点は、道が平成30年10月30日に指定した天然記念物「ヌマタネズミイルカ化石」と平成31年3月19日に指定した無形民俗文化財（風俗慣習）「姥神大神宮渡御祭」です。

○「ヌマタネズミイルカ化石」

昭和60年に沼田町を流れる幌新太刀別川河床にて発見されました。全身骨格がほぼ完全な状態で出土された化石であり、保存状態も良好であることから、化石生成の研究において度々引用されています。

○「姥神大神宮渡御祭」

江差町に所在する姥神大神宮の祭礼として毎年8月に開催されています。約370年前にニシンの豊漁を祝ったのが始まりと言われており、神輿渡御に山車（ヤマ）が供奉して町内を巡行する形態を取っています。地域的特色が豊かで、本道における風俗慣習として、神社の祭礼の在り方や変遷を理解する上で重要な祭礼であります。

目 次

I 平成30年度文化財保護の主なあゆみ

1	新たに指定・登録された文化財	P 2
	(1) 国指定文化財	P 3
	(2) 道指定文化財	P 8
	(3) 国登録文化財	P 10
2	世界遺産登録を目指して	P 11
	(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について	
	(2) 4道県共通ホームページの作成について	P 12
	(3) 北海道の独自事業について	
	(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について	P 13
3	日本遺産 (Japan Heritage) について	P 14
4	ほっかいどう民俗芸能振興事業について	P 17
5	北海道文化財保護強調月間について	P 18
6	アイヌ民俗文化財の保存・伝承	P 20
	(1) アイヌ民俗文化財調査事業	
	(2) アイヌ民俗文化財伝承・活用事業	
7	指定文化財の保存整備(国庫補助事業)	P 21
	(1) 重要文化財	
	(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観	P 27
	(3) 史跡・名勝・天然記念物	P 28
8	埋蔵文化財保護のための事前協議	P 31
9	埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)	P 33
10	発掘調査	P 35

II 資料編

1 文化財

- (1) 文化財の指定状況(国指定・道指定) P 36
- (2) 国指定・選定文化財一覧 P 37
- (3) 道指定文化財一覧 P 44
- (4) 管内別市町村指定等文化財一覧 P 49
- (5) 管内別登録文化財
- (6) 登録文化財一覧 P 50
- (7) 平成 30 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧 P 54
- (8) 平成 30 年度文化財パトロール P 65
- (9) 平成 30 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数
- (10) 平成 30 年度銃砲刀剣類の登録状況 P 66

2 埋蔵文化財

- (1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧 P 67
- (2) 平成 30 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と
北海道実施の所在・試掘調査一覧 P 68
- (3) 平成 30 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧
- (4) 平成 30 年度管内別発掘調査一覧
- (5) 平成 30 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数 P 69
- (6) 平成 30 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等
- (7) 平成 30 年度出土文化財認定件数と出土遺物量
- (8) 平成 30 年度出土文化財譲与件数

3 その他

- (1) 北海道教育推進計画 P 70
- (2) 平成 30 年度北海道文化財保護審議会 P 71
- (3) 北海道文化財保護審議委員一覧
- (4) 平成 30 年度銃砲刀剣類登録審査会 P 72
- (5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員
- (6) 北海道立埋蔵文化財センター P 73
- (7) 平成 30 年度北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会 P 74
- (8) 北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会有識者一覧 P 75
- (9) 文化財情報の発信 P 76
- (10) 文化財関係機関・団体リンク

I 平成 30 年度文化財保護の主なあゆみ

○ 新指定(国指定・道指定・国登録)の文化財

国指定では、帯広市の「北海道八千代 A 遺跡出土品」が重要文化財（考古資料）、函館市の「旧相馬家住宅」が重要文化財（建造物）、上ノ国町の「旧笹浪家住宅米蔵・文庫蔵」が重要文化財（建造物）に追加指定、斜里町の「チャシコツ岬上遺跡」が史跡に指定されました。

道指定では、沼田町の「ヌマタネズミイルカ化石」が天然記念物、江差町の「姥神大神宮渡御祭」が無形民俗文化財に指定されました。

登録文化財では、江別市の「旧肥田製陶工場（E B R I）」が国の登録有形文化財に登録されました。

○ 世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県などが共同提案した「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」が、平成 21 年 1 月 5 日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。4 道県と関係 14 市町は、世界遺産登録をめざし、推薦書案の作成や登録推進のための情報発信などを行いました。

○ 北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関 5 者と共同で、平成 20 年度から毎年 10 月 8 日～11 月 7 日を北海道文化財保護強調月間に設定しています。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成 30 年度は期間中に、119 市町村で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座・シンポジウム等文化財に関するイベント 327 事業が実施され、多くの方が参加しました。

○ アイヌ民俗文化財の保存・伝承

^{かんなり}金成マツノートの整理・翻訳やアイヌ文化財専門職員等研修会などを実施しました。

○ 文化財の保存整備

北海道や市町村が主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を 46 件実施しました。

○ 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、開発事業に伴う 155 件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は 60 件が実施されました。

1 新たに指定・登録された文化財

国指定重要文化財 2 件（建造物 1 件、考古資料 1 件）、史跡 1 件、国指定重要文化財（建造物）〔追加指定〕 1 件、道指定では有形文化財 2 件（建造物 1 件、美術工芸品 1 件）、天然記念物 1 件、無形民俗文化財 1 件があり、国登録は登録有形文化財（建造物）が 1 件ありました。

（1）国指定文化財

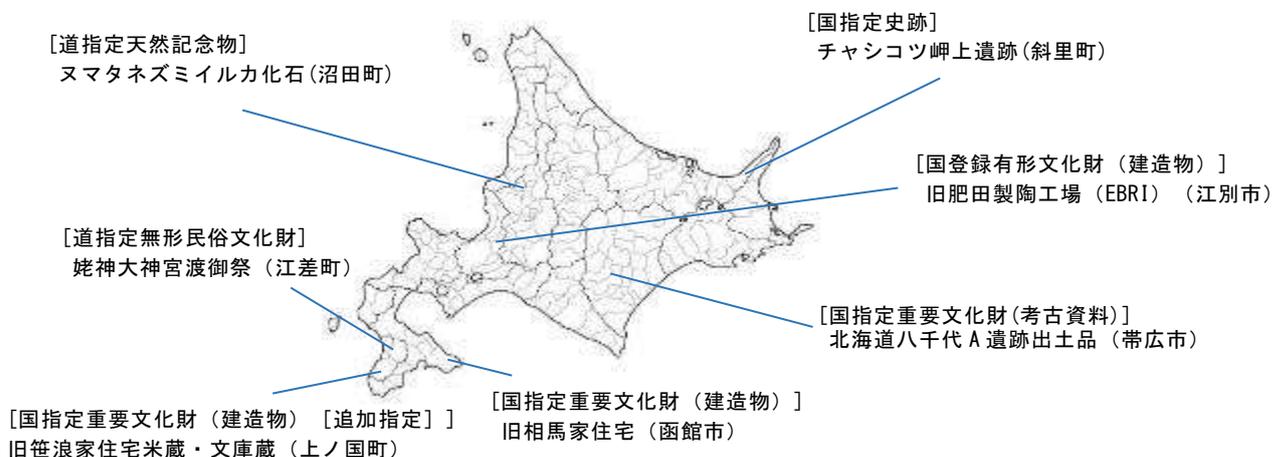
- 重要文化財（考古資料）〔平成 30 年 10 月 31 日付け〕
「北海道八千代 A 遺跡出土品」（帯広市）
- 重要文化財（建造物）〔平成 30 年 12 月 25 日付け〕
「旧相馬家住宅」（函館市）
- 重要文化財（建造物）〔追加指定〕〔平成 30 年 12 月 25 日付け〕
「旧笹浪家住宅米蔵・文庫蔵」（上ノ国町）
- 史跡〔平成 31 年 2 月 26 日付け〕
「チャシコツ岬上遺跡」（斜里町）

（2）道指定文化財

- 天然記念物〔平成 30 年 10 月 30 日付け〕
「ヌマタネズミイルカ化石」（沼田町）
- 無形民俗文化財〔平成 31 年 3 月 19 日付け〕
「姥神大神宮渡御祭」（江差町）

（3）国登録文化財

- 登録有形文化財（建造物）〔平成 31 年 3 月 29 日付け〕
「旧肥田製陶工場（EBRI）」（江別市）



(1) 国指定文化財

① 重要文化財（考古資料）

「北海道八千代A遺跡出土品」（ほっかいどうやちよAいせきしゅつどひん）

【指定日】平成30年10月31日

【所有者】帯広市（帯広百年記念館保管）

【員数】1, 土器・土製品 39点

1, 石器・石製品 541点

【時代】縄文時代

【解説】八千代A遺跡は帯広市街地の南西約30km、日高山脈の東の麓にあります。この遺跡では、昭和60年から昭和63年にかけて草地造成等に伴う発掘調査が行われ、今から約9000年前、縄文時代早期中葉の「^{あかつき}暁式土器」時代の竪穴住居跡が103軒発見され、北海道東部における大規模集落の成立がこの時期まで遡ることがはじめてわかりました。指定品は竪穴住居跡から出土した土器や石器など580点です。「暁式土器」は北海道東部に広く分布する縄文土器としては最古の一群で、ホタテガイの貝殻の上で成形した深鉢形土器が多いことが特徴です。石器には石鏃や石製の錐などのほか、十勝三股などで採れる良質な黒曜石を素材として、旧石器時代の伝統を残した石器が多くみられますが、縄文文化を特徴づける磨製石斧が登場します。また、磨石や台石など貯蔵食料の調理用と思われる石器が極めて多く、定住的な生活の開始をよく示しています。ほかに動物の頭部を象った土製品、コハク玉などの装身具もあります。北海道東部で最初に盛行した縄文時代早期の多彩な文化様相を示す資料であり、日本列島において早い段階に確立した、竪穴住居を主とした大規模集落跡からの出土品としても価値が高いものです。



② 重要文化財（建造物）

「旧相馬家住宅 主屋、土蔵」（きゅうそうまけじゅうたく おもや、どぞう）

【指定日】平成 30 年 12 月 25 日

【所在地】函館市元町 33 番地 1

【員 数】2 棟

【年 代】主屋 明治 44 年頃、土蔵 明治中期

【解 説】旧相馬家住宅は、函館屈指の実業家である相馬哲平が明治末期に建てた住宅で、函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区内の、函館湾を望む高台に所在する。

主屋は、内外とも和風意匠を基調とし、港を望む主座敷は、良材を駆使し、雄大な座敷飾を備えた上質な意匠の書院である。

また玄関脇に設けた応接室は、外部を下見板張として窓枠などを植物文様の彫刻で彩り、内部も天井の中心飾りやモールディングなど、繊細かつ上質な洋風意匠でまとめている。

和洋の文化が調査する近代の函館における、意匠優秀な住宅として高い価値を有している。



主屋（撮影 及川昌夫氏）



応接室外観



土蔵

(2枚とも、旧相馬邸ホームページから)

「旧笹浪家住宅 米蔵・文庫蔵」(きゅうささなみけじゅうたく こめぐら・ぶんこぐら)

【指定日】平成30年12月25日

【所在地】上ノ国町字上ノ国236番地

【員数】1棟

【年代】嘉永元(1848)年

【解説】旧笹浪家住宅は、日本海沿岸に所在する、ニシン漁などで繁栄した漁家の住宅である。主屋は19世紀前期、土蔵は明治18年の建築で、いずれも重要文化財に指定されている。

米蔵・文庫蔵は嘉永元(1848)年の建築で、平成3年に一旦解体格納された後、平成14年に復旧された。

土蔵造2階建、切妻造、棧瓦葺で、内部は北側の文庫蔵と南側の米蔵に区分され、屋根下地には北海道の地域的特色を示す樺葺が使われている。

北海道内の漁家の中でも旧家である笹浪家の屋敷構えを構成する重要な建物であり、指定して一体的な保護を図る。

(主屋、土蔵の2棟は平成4年1月21日付けで重要文化財として指定済みであり、米蔵・文庫蔵1棟について追加指定があったもの。)



米蔵・文庫蔵（上ノ国町教育委員会提供）

③ 史跡

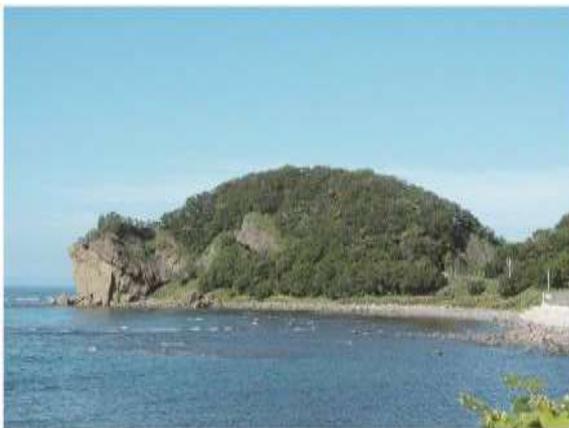
「チャシコツ岬上遺跡」(ちやしこつみさきうえいせき)

【指定日】平成31年2月26日

【指定内容】面積 5,274.95 m²

【所在地】斜里町

【解 説】 サハリン・北海道・千島列島などオホーツク海沿岸部に広く分布したオホーツク文化終末期を中心とする拠点集落遺跡である。知床半島南西端から海に突き出した標高55mの岬状を呈する海岸段丘上に、8～9世紀にわたって31棟の^{たてあな}竪穴建物や墓、廃棄場等の遺構が密集して営まれた。出土遺物からは、オホーツク海に広く生息する海獣の狩猟や漁労を主な生業とする、海洋適応民としてのオホーツク文化の内容が詳しく明らかになっている。また、^{なりわい}古代理令国家で用いられた^{じんぐうかいほう}神功開寶が出土するなど、隣接地域集団を介した本州側との交流があったことが判明した。竪穴建物にはヒグマ骨塚を持つものがあり、独自の動物儀礼が存在したことが示され、動物をかたどった骨偶や木製品の存在には、動物に対する信仰を中心とした世界観があったことがうかがわれる。オホーツク文化はやがて在地の^{きつもん}擦文文化と融合し、地域性の強いトビニタイ文化を形成するが、チャシコツ岬上遺跡では一部にトビニタイ文化期の遺構が認められることから、この文化変容の具体的な様相を知ることができる。このように、チャシコツ岬上遺跡は、本州に古代理令国家が栄えた時代の日本列島北辺域における古代文化の実態を知る上で、極めて重要な遺跡である。



(上段左) チャシコツ岬上遺跡遠景

(上段右) チャシコツ岬上遺跡俯瞰

(下段左) 竪穴住居跡

(2) 道指定文化財

① 道指定天然記念物

「ヌマタネズミイルカ化石」(ぬまたねずみいるかかせき)

【指定日】平成30年10月30日

【所在地】雨竜郡沼田町南1条2丁目7番49号(沼田町化石館レプリカ工房)

【員数】3標本(化石点数121点)

【解説】雨竜川の支流である沼田町幌新太刀別川流域では、約9000万年前(中生代白亜紀)から約250万年前(新生代新第三紀)までの海で堆積した地層から、当時生息していた長頸竜、アンモナイトや二枚貝、海棲哺乳類などの化石が数多く発見されている。

NFL7は昭和60年に秩父別中学校の校外授業中に幌新太刀別川河床で発見され、沼田町教育委員会と沼田小学校、沼田中学校や沼田高校の教諭等により、ほぼ完全な全身骨格が発掘された。平成12年にはネズミイルカ科の化石としては日本で最初の新属・新種 *Numataphocoena yamashitai* sp. nov.として論文発表され、その後の研究が進展するきっかけとなった。また、全身がほぼそのままの状態出土した世界的にも類のない良好な保存状態であるため、化石生成の研究でも度々引用されている。

ネズミイルカ科は現在でも北半球を中心に生息しており、イラストなどに描かれることが多い細長い口を持つマイルカ科とは異なり、短い口と丸みのある頭を特徴とする。最近の系統解析では、ヌマタネズミイルカは現生のネズミイルカとは古い時期に系統が分かれ、異なる進化をした後、絶滅したグループの一つに属するとされており、ネズミイルカ科の進化史を探る上で重要な位置にある。脊椎動物の化石種は1種1標本しか存在しないことが多いが、同一産地、同一層準で発掘された同種の化石としてNFL2074、NFL2617が発見されたことで、種の変異を知ることができる標本群である。

ヌマタネズミイルカ化石の発掘は、町民による沼田化石研究会(現在は沼田化石友の会)が結成される契機となり、化石クリーニングやレプリカ作成を手掛ける中で、町外からも化石レプリカの作成を依頼されるようになったほか、化石体験館設立、絵本「時をながれる川」の作成、町民によるミュージカル「沼田化石物語」上演など、地元で愛され、町づくりに活用されている。



ヌマタネズミイルカ復元骨格(沼田町教育委員会提供)

② 無形民俗文化財（風俗慣習）

「姥神大神宮渡御祭」（うばがみだいじんぐうとぎょさい）

【指 定 日】平成 31 年 3 月 19 日

【所 在 地】檜山郡江差町

【保護団体】姥神大神宮祭典協賛実行委員会

【解 説】姥神大神宮渡御祭は、檜山郡江差町において、同町に所在する姥神大神宮の祭礼として伝承されてきたもので、神輿渡御に山車が供奉して町内を巡行する形態をとっています。

正確な始期は不明ですが、祭礼資料や記録から、遅くとも江戸時代中期の 18 世紀中頃には神輿渡御と山車供奉が行われていたと推測することができます。

神社の祭礼に際して行われる曳山行事（山車祭り）は、北海道南部を中心に道内各地で行われていますが、姥神大神宮渡御祭は様々な資料を基にして歴史的に遡ることができるとともに、由来、内容等において地域的特色も豊かであり、本道における典型的な風俗慣習として、その在り方や変遷を理解する上で特に重要なものであります。

山車集結の様子



町内巡行の様子



神輿の宿入れ



各山車提灯



(3) 国登録文化財

① 有形文化財（建造物）

「旧肥田製陶工場（E B R I）」（きゅうひだせいとうこうじょう（えぶり））

【登録日】平成 31 年 3 月 29 日

【年 代】昭和 26 年頃建設／昭和 28 年頃増築／平成 27 年改修

【所在地】江別市東野幌町 3 番地 3 他

【解 説】市中心部にある旧窯業工場。煉瓦造の主体部と鉄筋コンクリート造の増築部からなり、増築部の壁を煉瓦積みとして一体感のある外観をつくる。江別市の窯業の歴史を伝える象徴的な存在として地域に親しまれる。



（江別市教育委員会提供）

【問合せ先】江別市郷土博物館 電話：011-385-6466

2 世界遺産登録を目指して

平成 21 年 1 月に「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載されて以来、平成 30 年度で 10 年目を迎えました。

北海道と北東北 3 県は、平成 21 年 6 月に 4 道県と関係する 12 市町（道内 2 市 2 町）の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、登録推進のための事業を継続しています。平成 24 年度には構成資産の追加に伴いさらに 2 市（道内 1 市）が推進事業に加わりました。

平成 30 年度は、縄文遺跡群世界遺産登録推進議員連盟及び登録推進本部が 3 度に渡り、内閣官房長官、文部科学大臣並びに文化庁長官に対し要望活動を行うなど、登録の推進に向け精力的な活動を行い、7 月にははじめて文化審議会において世界文化遺産推薦候補として選定を受けました。

(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について

推進本部のもとには各自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、登録推進事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っています。平成 30 年度には推進会議を 2 回、専門家委員会を 1 回開催し、協議を進めました。世界遺産登録に向けて行う主な事業は 2 つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。暫定一覧表に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。この推薦書のもととなる「世界遺産登録推薦書原案」を平成 25 年 7 月に文化庁へ提出し、その後も文化審議会から示された諸課題について、国内外の専門家の助言を得ながら、推薦内容の精度を高め、毎年 3 月に「世界遺産登録推薦書素案」を文化庁へ提出しています。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があり、また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで国際会議開催、広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信していこうとするものです。

平成 30 年 5 月には東京において国際専門家会議を開催し、専門家委員会の委員と海外から招いた専門家 2 名が主に推薦書素案の改善を目的に意見を交換しました。

また、平成 31 年 1 月に東京、平成 31 年 3 月に札幌市で「縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム」を開催しました。札幌のフォーラムでは、世界遺産を活用した観光の創造に関する石森秀三北海道博物館長の講演を基調に「縄文遺跡を現代に活かす」と題したパネルディスカッションを行い、185 名の参加者がありました。

◆縄文世界遺産登録推進フォーラム

- 世界遺産登録推進フォーラム札幌会場（2019. 3. 21）



▲フォーラム当日会場の様子

(2) 4道県共通ホームページの作成について

平成 25 年 8 月 30 日に、世界遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」の普及啓発を目的に、4道県共通ホームページを開設しました。

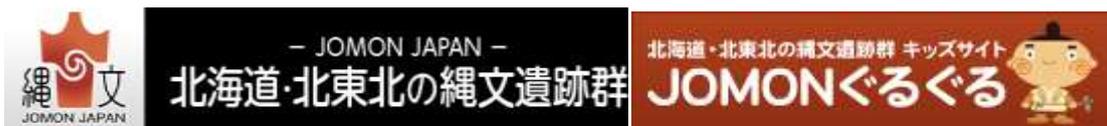
また、平成 26 年 3 月 31 日には、子どもたちに縄文遺跡群の魅力を紹介する北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」を開設しています。

◆「JOMON JAPAN 北海道・北東北の縄文遺跡群」

ホームページ：<https://jomon-japan.jp/>

◆北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」

ホームページ：<https://jomon-japan.jp/kids/>



(3) 北海道の独自事業について

平成 14 年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成 16 年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の 3 県とともに進めてきました。

暫定一覧表への記載はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、平成 23 年度には、世界遺産の登録を推進する組織として知事部局に「縄文世界遺産推進室」が設置され、北海道教育委員会と連携して、道内における気運の醸成を図るために道独自の事業を行っています。

7 月に「縄文夏まつり」を札幌駅前通地下歩行空間で、2 月に北海道庁赤レンガ庁舎で「縄文雪まつり」を開催しました。

これらの登録推進事業については縄文世界遺産推進室のウェブサイト内で報告し、今後の予定についても紹介しておりますので、御参照ください。

○縄文夏まつり会場



○縄文雪まつり会場



◆「縄文夏まつり」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/2017natumaturi.htm>

◆「縄文雪まつり」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/2018yukimatsuri.htm>

(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成 19 年 9 月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。

平成 27 年度からこの資産の価値の証明に向けて竪穴住居跡群の全体像把握を目的とした総合調査を開始し、30 年度には 29 年度までの調査結果をまとめた資料「北海道の竪穴群の概要」を作成しました。関係情報は次のページで公開しております。

◆「竪穴群ポータル」

ホームページ：<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/portal.htm>

3 日本遺産(Japan Heritage)について

「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを国が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

道内の日本遺産 (Japan Heritage) 認定概要

[平成 29 年度認定]

① 江差町

《江差の五月は江戸にもない ―ニシン繁栄が息づく町―》

(ストーリーの概要)

江差の海岸線に沿った段丘の下側を通っている町並みの表通りに、切妻屋根の建物が建ち並び、暖簾・看板・壁にはその家ごとの屋号が掲げられている。緩やかに海側へ下っている地形にあわせて蔵が階段状に連なり、海と共に生きてきた地域であることがうかがえる。

この町並みは、江戸時代から明治時代にかけてのニシン漁とその加工品の取引によって形成されたもので、その様は「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどであった。

ニシンによる繁栄は、江戸時代から伝承されている文化とともに、今でもこの地域に色濃く連綿と息づいている。



「ニシンによる繁栄が息づく江差の町並み」

② 酒田市（山形県）、函館市・松前町・小樽市・石狩市（北海道）、鱒ヶ沢町・深浦町・野辺地町（青森県）、秋田市・にはか市・男鹿市・能代市・由利本荘市（秋田県）、新潟市・長岡市・佐渡市・上越市（新潟県）、加賀市・輪島市・小松市（石川県）、敦賀市・南越前町・坂井市・小浜市（福井県）、富山市・高岡市（富山県）、宮津市（京都府）、大阪市（大阪府）、神戸市・高砂市・新温泉町・赤穂市・洲本市（兵庫県）、鳥取市（鳥取県）、浜田市（島根県）、倉敷市（岡山県）、尾道市・呉市（広島県）

（※小樽市・石狩市（北海道）、野辺地町（青森県）、にはか市・男鹿市・能代市・由利本荘市（秋田県）、佐渡市・上越市（新潟県）、輪島市・小松市（石川県）、坂井市・小浜市（福井県）、宮津市（京都府）、大阪市（大阪府）、神戸市・高砂市・新温泉町・赤穂市・洲本市（兵庫県）、鳥取市（鳥取県）、浜田市（島根県）、倉敷市（岡山県）、尾道市・呉市（広島県）は、平成30年度追加）

《荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～》

（ストーリーの概要）

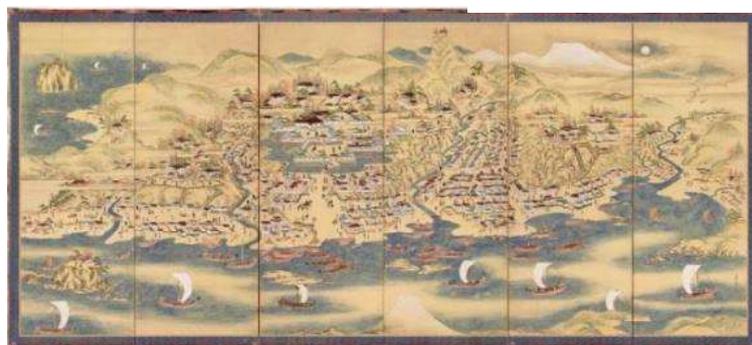
日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。

また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。



「函館山」



「松前屏風」

[平成 30 年度認定]

上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、当麻町、東川町、比布町

《カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～》

(ストーリーの概要)

美しく厳しい大雪山のふところに、カムイ～神～を見出し共に生きた“上川アイヌ”。

彼らは激流迸る奇岩の溪谷に魔神と英雄神の戦いの伝説を残し、神々への祈りの場として崇めた上川アイヌの聖地には、クマ笹で葺かれた家などによりコタンを形成し祈りを捧げ続ける。

上川アイヌは「川は山へ遡る生き物」と考え、最上流の大雪山を最も神々の国に近く、自然の恵みをもたらす、カムイミンタラ～神々の遊ぶ庭～として崇拝してきた。

神々と共に生き、伝承してきた上川アイヌの文化は、この大地に今も息づいている。



「大雪山の雄大な自然」

4 ほっかいどう民俗芸能振興事業について

道内各地で民俗芸能に取り組んでいる子どもたちに発表の機会を提供することにより、地域の文化への興味関心や郷土愛を育むとともに、次代を担う後継者の育成や民俗芸能の普及振興を図ることを目的に平成 27～29 年度の 3 年間、全道 4 つのブロックで、民俗芸能の伝承講座を受講した子どもたちが、習得した民俗芸能を発表する成果発表会を開催しました。

平成 30 年度は、その集大成として、北海道 150 年記念式典に併せて全道大会を開催し、全道各地から集まった子どもたちが日頃の練習の成果を披露しました。

(1) 平成 27～29 年度実施事業 「成果発表会」

年 度	ブロック	会 場	出 演 団 体
H27	道南	森町	江良八幡神社杵振舞（松前町）、江差追分踊り（江差町）、勇払千人隊御会所太鼓（苫小牧市）、襟裳神楽（えりも町）
H28	道央	札幌市	峰延獅子舞（美唄市）、恵庭岳太鼓（恵庭市）、松前神楽（小樽市）
H29	道北	東川町	越中踊り（東川町）、岩戸神楽（留萌市）、南浜獅子神楽（利尻富士町）、豊郷神楽（網走市）
	道東	帯広市	大正宮神楽（帯広市）、白蛇姫舞（鹿追町）、釧路鳥取傘踊り（釧路市）、寿子ども蝦夷和太鼓（釧路市）、厚床獅子舞（根室市）

(2) 平成 30 年度「ほっかいどう子ども民俗芸能全道大会」

□期 日：平成 30 年 8 月 5 日（日）13 時 30 分～

□会 場：北海きたえーる 水と緑の広場特設会場

□演 目：大正宮神楽（帯広市）、恵庭岳太鼓（恵庭市）、南浜獅子神楽（利尻富士町）、江差追分踊り（江差町）、松前神楽（小樽市）



大正宮神楽

芸能の様子



南浜獅子神楽



江差追分踊り



松前神楽



恵庭岳太鼓

5 北海道文化財保護強調月間について

平成 20 年度に、北海道教育委員会、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会及び北海道博物館協会の 6 者は共同で、毎年 10 月 8 日～11 月 7 日の期間を、「北海道文化財保護強調月間」として設定しました。

期間中には、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施しています。

平成 30 年度は、第 11 回目として、119 の市町村等で展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化財に関連するイベント 327 事業が実施されました。

なお、第 11 回北海道文化財保護強調月間ポスターには、北海道 150 年事業の一環として開催しました「ほっかいどう子ども民俗芸能全道大会」の写真を掲載し、文化財への興味・関心の醸成、保存・活用の啓発に努めました。

今後も、市町村教育委員会等の協力を得ながら、様々な形で、児童・生徒の皆さん、そして、広く道民の方々が文化財を身近に感じ、親しんでいただく機会の提供に取り組めます。

- ・文化財保護強調月間ホームページ

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm>

「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち 6 団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成 20 年 7 月 17 日

○北海道文化財保護強調月間ポスター

北海道文化財保護強調月間
 第11回 平成30年10月8日(月)~11月7日(水)
 見て感じ心にきざむ文化財



ほっかいどう子ども民俗芸能金道大会
【平成30年10月15日開催】

北海道教育委員会は、道内の貴重な文化財を守り伝えるために、毎年10月8日から11月7日を「北海道文化財保護強調月間」と定め、市町村の教育委員会や文化財に関係する団体と連携して、文化財の公開や展示会、講演会の開催など、道民の皆様が文化財に親しむことのできる環境づくりを進めています。

共同開催団体
 北海道教育委員会 / 札幌市 / 北海道教育庁学習推進局 道庁・協議会
 北海道町村教育委員会連合会 / 北海道文化財保護協会 / 北海道博物館協会

お問い合わせ先
 北海道教育庁学習推進局文化財・博物館課
 TEL:0112354-5740 URL: <http://www.dokkyo.net/hokkaido/cg/06/index/>




○当別町「当別伊達記念館」

○留萌市「海のふるさと館」
 郷土学習講座「大昔の留萌」



6 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査事業

アイヌ民俗文化財に係る調査等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に係る道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配付し、活用を図りました。

[金成マツノート整理・翻訳、刊行]

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・^{かんなり}金成マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

・ユーカラシリーズ 61

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「小さな狸の皮衣(2)」』

萱野志朗 訳

・ユーカラシリーズ 62

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「女のユーカラ 鳥のさえざり(2)」』

切替英雄、高橋靖以 訳

・ユーカラシリーズ 63

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「ススランベチ(2)」』

蓮池悦子 訳

[平成30年度アイヌ民俗文化財調査報告書]

アイヌの人たちが祖先から伝承してきた生活や生産・生業に関する民俗技術について、テーマを設定して調査を実施し、報告書を刊行しました。

- ・育児に関する民俗技術 藤村久和、花輪陽平 著

(2) アイヌ民俗文化財伝承・活用事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、伝統的な民俗技術及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

また、専門職員等を対象に研修会を開催しました。

- ① アイヌ民俗技術伝承講座：道内5会場
(延べ60講座、延べ参加人員590人)
- ② アイヌ民俗芸能伝承講座：道内5会場
(延べ40講座、延べ参加人員435人)
- ③ アイヌ文化財専門職員等研修会
(会場：札幌、参加人員：77人)



アイヌ古式舞踊練習風景

7 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保存整備等を図るため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、歴史資料の保存・修理、史跡・名勝の保存・整備の事業を行いました。

(1) 重要文化財

● 建造物

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要文化財 (建造物)	旧日本郵船株式会社小樽支店	旧日本郵船株式会社小樽支店は、明治 39 年(1906)に建てられた当時の商都小樽を代表する商業建築で、近世ヨーロッパ復興様式の石造建築物です。 平成 30 年度は、耐震補強工事のための実施設計を行いました。	小樽市
重要文化財 (建造物)	旧函館区公会堂	旧函館区公会堂は、明治 39 年(1906)に集会所等として工事費の大半を豪商相馬哲平の寄付により建てられました。2階のバルコニーからの絶景と和と洋が融合した優れた意匠で観光客に人気が高い建造物です。 平成 30 年度は、耐震補強を含む保存修理工事として、仮設工事、解体工事等を実施しました。	函館市
重要文化財 (建造物)	遺 愛 学 院 (旧遺愛女学校) 本 館	遺愛学院(旧遺愛女学校)本館は、北海道における木造学校建築の代表作の一つとして高い価値があり、明治後期学校建築の指標となる遺構としても重要です。 平成 30 年度は、保存修理工事に向けた地盤調査、耐震診断等を実施しました。	学校法人 遺愛学院
重要文化財 (建造物)	北 海 道 庁 旧 本 庁 舎	北海道庁旧本庁舎は、明治 21 年(1888)竣工のれんが造地上 2 階地下 1 階建の官庁建築物であり、我が国における大規模なれんが造建造物の初期遺構です。 平成 30 年度は、保存修理工事のための調査及び実施設計を行うとともに、防災施設等設置のための実施設計を行いました。	北海道
重要文化財 (建造物)	旧札幌農学校 演 武 場 (時 計 台)	旧札幌農学校演武場(時計台)は、明治 11 年(1878)に竣工した木造 2 階建の北海道における初期米国風木造建築で、一般に札幌時計台の名で	札幌市

		<p>親しまれている北海道の開拓使時代の代表的建築です。</p> <p>平成30年度は、屋根及び外壁等の外部の劣化を修理するため、塗装修理・屋根修理・部分修理を実施しました。</p>	
重要文化財 (建造物)	旧網走監獄 旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所 (二見ヶ岡農場)	<p>旧網走監獄は、明治23年(1890)に網走囚徒外役所として設置され、明治期の木造監獄建築の数少ない遺例として重要なものです。</p> <p>二見ヶ岡刑務支所は明治29年(1896)に開設され、全国でも珍しい農園を持つ刑務所の建築群で、歴史的に高い価値があります。</p> <p>平成30年度は、建物の耐震診断を行うに当たって構造調査、地盤調査、構造診断を実施しました。</p>	公益財団法人網走監獄保存財団
重要文化財 (建造物)	函館ハリストス正教会復活聖堂	<p>函館ハリストス教会復活聖堂は、大正5年(1916)に建てられ、日本ハリストス正教会発祥の地に建つ由緒をもち、小規模ながら正教会復活聖堂の標準的な構成による煉瓦造の本格建築です。</p> <p>平成30年度は、建物の耐震診断を行うに当たって構造診断、構造補強案策定等を実施しました。</p>	宗教法人ハリストス正教会

重要文化財「旧日本郵船株式会社小樽支店」(小樽市)



重要文化財「旧函館区公会堂」(函館市)



重要文化財「遺愛学院（旧遺愛女学校）本館」（函館市）



重要文化財「北海道庁旧本庁舎」（札幌市）



重要文化財「旧札幌農学校演武場（時計台）」（札幌市）



重要文化財「旧網走監獄旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）」（網走市）



（旧網走監獄）



（二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場））

重要文化財「函館ハリストス正教会復活聖堂」（函館市）



● 美術工芸品

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要文化財 (考古資料)	北海道上之國 勝山館跡出土品	北海道上之國勝山館跡出土品は、15～16世紀（室町時代～安土・桃山時代）の城館跡から出土した、木製品、漆器、金属製品、骨角製品、繊維製品などからなる貴重な考古資料です。 平成27年度から30年度の5年間の計画で、破損物の保存修理事業及び公開・保存を目的とした、保存台及び保存箱の製作を行っています。	上ノ国町
重要文化財 (考古資料)	北海道船泊遺跡 出土品	縄文時代後期中葉の集落跡と集団墓地、及び作業場跡等から出土した副葬品で、とりわけ貝製品には、房総半島以南のタカラ貝など、遠隔地から搬入された貝類を素材とした装身具が含まれ、当時の広域な物資交易をよく示す、貴重な資料となっています。 平成26年度から33年度の8年間の計画で、破損物の保存修理事業を行っています。	礼文町
重要文化財 (歴史資料)	開拓使文書	開拓使文書は、開拓使札幌本庁、その前身の箱館府等において、作成、収受、編綴された近代行政文書であり、明治政府による北海道の近代化の諸政策を知る上での貴重な資料です。 平成27年度から35年度の9年間の計画で、破損した原本の保存修理事業を行っています。	北海道

○重要文化財「北海道上之國勝山館跡出土品」（上ノ国町）



○重要文化財「北海道船泊遺跡出土品」(礼文町)



○重要文化財「開拓使文書」(北海道)



(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要伝統的建造物群保存地区	函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区	<p>函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。</p> <p>この歴史的な町並みを大切にするため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。</p> <p>平成 30 年度は、金森倉庫 1 号主屋修理事業など 7 件の修理事業を実施しました。</p>	函館市
重要文化的景観	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	<p>「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。</p> <p>平成 30 年度は、追加選定に向けた調査や保存計画に基づく集計工事等を実施しました。</p>	平取町

○函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区（函館市）



旧茶屋亭主屋

○沙流川流域の文化的景観（平取町）



チッサンケ（舟下ろしの儀式）

(3) 史跡・名勝・天然記念物

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
特別史跡	五 稜 郭 跡	<p>五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年(1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の城塞設計の思想が融合した特色ある城郭です。</p> <p>平成 30 年度は、石垣定点調査とアカマツの保全整備を実施しました。また、北海道胆振東部地震により崩落した石垣の修理に着手しました。</p>	函 館 市
史 跡	松 前 氏 城 跡 福 山 城 跡 館 城 跡 の うち 福 山 城 跡	<p>福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した城です。海からの攻撃に備えた台場(砲台)が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から続く寺町が今も残ります。</p> <p>平成 30 年度は平成 28 年の台風 10 号により破損した二の丸地区土塀の修理を実施しました。</p>	松 前 町
史 跡	旧 奥 行 白 駅 通 所	<p>旧奥行白駅通所は明治 43 年(1910)から昭和 5 年までの間、人馬の継ぎ立てと宿泊、物資の通送等の便宜を図った施設で、主屋 1 棟、馬屋 2 棟、倉庫 1 棟が現存しています。</p> <p>平成 30 年度は、主屋の保存修理と外構部分の発掘調査を実施しました。</p>	別 海 町
史 跡	入 江 ・ 高 砂 貝 塚	<p>入江・高砂貝塚は噴火湾を望む台地上に隣接して位置し、当時の生業、縄文人の形質や葬法などを知る上で重要な貝塚です。</p> <p>平成 30 年度は、園路整備とガイダンス施設の基本・実施設計を実施しました。</p>	洞 爺 湖 町
史 跡	常 呂 遺 跡	<p>常呂遺跡は、常呂川河口付近からサロマ湖東岸に及ぶ広大な遺跡で、地表に窪みとして残る竪穴住居跡は 2,700 ヶ所を超え、独特の景観を作り出しています。</p> <p>平成 30 年度は、竪穴住居 1 軒を復元に着手し、講演会、見学会等を開催しました。</p>	北 見 市

史 跡	カリンバ遺跡	カリンバ遺跡は、縄文時代の大きな大規模な墓地で、漆製品等の豊富な副葬品が出土しています。 平成 30 年度は水文環境の調査を実施しました。	恵庭市
史 跡	垣ノ島遺跡	垣ノ島遺跡は、縄文時代に作られた南北 200m 東西 130m の「コ」の字形の盛り土が特徴的な遺跡です。 平成 30 年度は、「コ」の字形の盛り土の整備や園路等の実施設計を実施しました。	函館市
史 跡	上之国館跡 のうち勝山館跡、 花沢館	上之国館跡は、15 世紀に和人の拠点として設けられた、北海道では数少ない中世城館の変遷がうかがえる史跡です。 平成 30 年度は、整備基本計画の策定に着手しました。	上ノ国町
史 跡	旧歌棄佐藤家漁場 <small>うたすつ</small>	旧歌棄佐藤家漁場は、海から陸地へと連続して展開する北海道西海岸の漁場の佇まいを今日に伝えるきわめて貴重な史跡です。 平成 30 年度は、邸内社保護のために覆屋を設置しました。	寿都町
史 跡	善光寺跡	善光寺は、蝦夷三官寺の第一の寺で、江戸時代のたたずまいを今日に伝えている史跡です。 平成 30 年度は、茅葺き屋根の葺き替えと腐朽が進んだ方丈の間の修理を実施しました。	伊達市
史 跡	旧留萌佐賀家漁場	旧留萌佐賀家漁場は、鯨粕製造の釜場跡や干場・船着場跡等が残るなど、往時の漁場景観を良好に残す貴重な史跡です。 平成 30 年度は、平成 29 年の暴風により破損した母屋屋根等の修理を実施しました。	留萌市
史 跡	白老仙台藩陣屋跡	白老仙台藩陣屋跡は、白老から知床岬まで警備を命ぜられた仙台藩が設置した拠点の跡で、幕末北辺防備の遺跡として重要です。	白老町

		平成 30 年度は、保存活用計画策定に向けて、測量調査や史料調査を実施しました。	
特別天然 記念物	阿寒湖のマリモ	世界でここにしか残されていない大規模な球状マリモの群集ですが、水草が増え、生息環境の悪化が心配されています。 平成 30 年度は、マリモとマリモの生育に悪影響を与えているといわれている水草の分布の関係について調査しました。	釧路市
特別天然 記念物	アポイ岳高山植物 群落	アポイ岳は、日高山脈の南端付近の西海岸寄りに位置し、かんらん岩という特殊な土壌条件や、海霧や強風の影響等により、数多くの高山植物が生育しています。 平成 30 年度は、高山植物植生の回復を目指し、ハイマツの伐採実験や各種モニタリング調査等を実施しました。	様似町



○保存修理が完了した旧奥行臼駅
通所主屋

○アポイ岳における登山道沿いの
ハイマツ伐採実験



8 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道教育委員会及び市町村教育委員会が前もって協議を行ない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえで、できる限りその取り扱いに関する調整を行なっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような工事から埋蔵文化財を保護するため、6,652.964ha について所在調査を、102.618ha について試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）



⑤ 試掘調査（市町村・北海道教育委員会実施）



→
重機・スコップなどで地面を掘ってみます。掘った土の中に土器・石器等があるか調べます。



↓
昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。（出土した土器 約 2000 年前のもの）
（中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡）

↓ → 遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。
（北海道教育委員会など）

- (1) 現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- (2) 発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- (3) 工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
- (4) 慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。

↓
⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

9 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査・分布調査や普及公開事業などを行いました。

種別	名称	事業内容	事業者
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される4件の所在調査と25件の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。	札幌市
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡キウス周堤墓群周辺の状況を把握するために平成27～29年に実施した試掘調査の整理作業を行いました。	千歳市
埋蔵文化財	市内遺跡	苫東開発区域内の静川地区の試掘調査で縄文時代の遺跡3か所、続縄文時代の遺跡1か所を新たに発見しました。	苫小牧市
埋蔵文化財	市内遺跡	高砂遺跡の個人住宅に伴う発掘調査で、縄文時代の住居跡・住居様遺構6軒や落とし穴3基、縄文時代・続縄文時代の土壌(どこう)34基等を検出しました。吉井の沢2遺跡では圃場整備に先立つ試掘調査で少量の石器が出土しました。	江別市
埋蔵文化財	市内遺跡	ユカンボシE2遺跡の個人住宅建設に伴う発掘調査で縄文時代の竪穴建物跡1軒、土坑15基、焼土8か所等を検出しました。ユカンボシE11遺跡では遺跡の内容を確認する試掘調査を行い、縄文土器が出土しました。	恵庭市
埋蔵文化財	町内遺跡	町内で計画されている農業関連の開発行為5事業に先立って所在調査69件と試掘調査5件を実施し、縄文時代の遺跡1か所を新たに発見しました。	美幌町
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡上之国館跡のうち洲崎館跡の規模や構造の把握を目的とする試掘調査を行いました。館跡に関する遺構は検出されませんでした。上ノ国市街地遺跡で平成7～17年度に実施した発掘調査の成果をまとめた報告書を刊行しました。上ノ国漁港遺跡では潜水により、海底の状況を確認しました。	上ノ国町
埋蔵文化財	町内遺跡	鳥崎遺跡・鷺ノ木2台場跡では地形測量・踏査・試掘調査、森栈橋跡では写真測量を行いました。史跡鷺ノ木遺跡では今後の管理や分析に資することを目的として、環状列石の現況調査や高精度測量を実施しました。	森町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	礼文町郷土資料館で重要文化財船泊遺跡の出土品の特別展、総合交流促進施設で同遺跡のパネル展を実施しました。礼文島内の埋蔵文化財を紹介する映像資料を作成しました。	礼文町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	千歳市埋蔵文化財センターで火起こしや土面・勾玉・縄文クッキー等の製作体験、史跡キウス周堤墓群を紹介する企画展を実施し、同センターの展示解説シートや市内の遺跡を紹介	千歳市

		介するパンフレットを作成しました。世界遺産をめざす北東北の縄文時代の遺跡を紹介する公開講座を実施しました。	
埋蔵文化財	地域の特 色ある 埋蔵文化 財活用	動物考古学セミナー・イベント・体験学習を実施し、パンフレット等の広報資料を作成しました。伊達市噴火湾文化研究所内に埋蔵文化財センター機能を設けるための内装展示工事を行いました。	伊達市
埋蔵文化財	地域の特 色ある 埋蔵文化 財活用	遠軽町埋蔵文化財センターで石器づくり等の体験学習会や講演会、企画展示「信州の縄文時代」等を開催しました。町内の学校やイベント会場での黒曜石アクセサリーづくり等の出前体験教室や町内遺跡見学ツアーを実施しました。	遠軽町
埋蔵文化財	地域の特 色ある 埋蔵文化 財活用	様似町中央公民館で勾玉・石器・トンボ玉作り・ベンガラ染め等の体験イベントや冬島遺跡の発掘調査に関する特別展・講演会を実施しました。学校や図書館に町内の遺跡から出土した資料を展示しました。	様似町



○ 江別市高砂遺跡
続縄文時代後半の土壙（どこう）から出土した土師器（はじき）



○ 恵庭市ユカンボシE2遺跡の調査状況

10 発掘調査

平成 30 年度は北海道内で 60 件、62,500 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	30	18,410 m ²
公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	13	40,727 m ²
大学・博物館等	17	3,363 m ²

また、平成 30 年度に北海道内の市町村教育委員会が実施した発掘調査の状況や出土遺物などについては、北海道教育委員会のホームページで公開していますので、御覧ください。

URLは次のとおりです。

<http://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h30gaiyou.htm>



○ 恵庭市
ユカンボシ E11 遺跡
竪穴建物跡

II 資料編

1 文化財

(1) 文化財の指定状況(国指定・道指定)

(平成31年3月31日現在)

区分	種別	地域を定めず	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	国保	計
国指定	国宝							1										1
	重要文化財			15	3	3	1	15	5	1	2	2	3	3	2	1	5	61
	重要無形文化財																	0
	重要有形民俗文化財			1			1	1			1							4
	重要無形民俗文化財			1				1										2
	特別史跡							1										1
	史跡		1	8	7	6	3	10	2		1		5	2	5	4		54
	名勝(*1)							1		1			1					3
	特別天然記念物	1		1		1	1			1					1			6
	天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2	2		1	1	5	3		41
	小計	15	3	28	12	11	8	32	9	5	6	2	10	6	13	8	5	173
選定	重要伝統的建造物群保存地区							1										1
	重要文化的景観						1											1
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
登録	有形文化財(建造物)		24	28	14	6	3	21	1	16		3	9	10	1	8		144
	記念物							1										1
	小計	0	24	28	14	6	3	22	1	16	0	3	9	10	1	8	0	145
道指定	有形文化財		4	8	5	5	2	33	9	1	4	3	4	4	2	3		87
	有形民俗文化財			2				1	3									6
	無形民俗文化財							1	6									7
	史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26
	名勝									1			1					2
	天然記念物		6			2	1	2	1	1		5	5	7	1	4		35
	小計	0	11	10	8	9	5	41	20	4	4	10	15	15	4	7	0	163
合計	15	38	66	34	26	17	96	30	25	10	15	34	31	18	23	5	483	

※ 複数管内に所在が跨(また)がる物件については、主たる所在地がある管内にカウントしている。

(2) 国指定・選定文化財一覧

国指定・選定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、保護の対象として文部科学大臣が指定又は選定した文化財です。

〔国宝〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	考古資料	函館市	H19.6.8

〔重要文化財〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	工 芸	札幌市	S8.1.23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	建 造 物	札幌市	S11.9.18
3	福山城（松前城）本丸御門	建 造 物	松前町	S16.5.8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	書跡・典籍	帯広市	S25.8.29
5	刀 無銘伝来国行	工 芸	札幌市	S31.6.28
6	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）※東京国立博物館保管	考古資料	室蘭市	S37.6.21
7	豊平館	建 造 物	札幌市	S39.5.26
8	木造大日如来坐像（本堂安置）	彫 刻	函館市	S42.6.15
9	北海道庁旧本庁舎	建 造 物	札幌市	S44.3.12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	建 造 物	小樽市	S44.3.12
11	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	建 造 物	札幌市	S44.8.19
12	旧札幌農学校演武場（時計台）	建 造 物	札幌市	S45.6.17
13	旧三戸部家住宅	建 造 物	伊達市	S46.12.28
14	旧花田家番屋	建 造 物	小平町	S46.12.28
15	旧下ヨイチ運上家	建 造 物	余市町	S46.12.28
16	旧中村家住宅	建 造 物	江差町	S46.12.28
17	太刀川家住宅店舗	建 造 物	函館市	S46.12.28
18	人形装飾異形注口土器（北海道上磯郡上磯町茂辺地出土） ※東京国立博物館保管	考古資料	北斗市	S48.6.6
19	旧函館区公会堂	建 造 物	函館市	S49.5.21
20	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	考古資料	千歳市	S54.6.6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	建 造 物	函館市	S58.6.2
22	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土壙 墓出土） ※国保有物件	考古資料	千歳市	S63.6.6
23	旧旭川偕行社	建 造 物	旭川市	H1.5.19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	建 造 物	札幌市	H1.5.19
25	北海道美利河1遺跡出土品	考古資料	今金町	H3.6.21
26	北海道湯の里4遺跡土壙出土品	考古資料	知内町	H3.6.21
27	龍雲院	建 造 物	松前町	H4.1.21

28	旧笹浪家住宅 米蔵・文庫蔵	建造物	上ノ国町	H4. 1. 21 H30. 12. 25
29	正行寺本堂	建造物	厚岸町	H4. 1. 21
30	法源寺山門	建造物	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	建造物	上ノ国町	H5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	考古資料	江別市	H5. 6. 10
33	北海道元江別1遺跡土壙墓出土品	※国保有物件 考古資料	江別市	H7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	考古資料	八雲町	H9. 6. 30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	考古資料	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	建造物	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	建造物	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	考古資料	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	建造物	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モシリ遺跡出土品	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	※国保有物件 考古資料	伊達市	H16. 6. 8
42	箱館奉行所文書	歴史資料	札幌市	H16. 6. 8
43	北海道美々8遺跡出土品	考古資料	江別市	H17. 6. 9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	歴史資料	伊達市	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺等澗院関係資料	歴史資料	様似町	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	歴史資料	厚岸町	H17. 6. 9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	考古資料	恵庭市	H18. 6. 9
48	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	歴史資料	松前町	H18. 6. 9
49	大谷派本願寺函館別院	建造物	函館市	H19. 12. 4
50	北海道上之國勝山館跡出土品	考古資料	上ノ国町	H20. 7. 10
51	北海道白滝遺跡群出土品	考古資料	遠軽町	H23. 6. 27
52	北海道船泊遺跡出土品	考古資料	礼文町	H25. 6. 19
53	旧開拓使工業局庁舎	建造物	札幌市	H25. 8. 7
54	開拓使文書	歴史資料	札幌市	H26. 8. 21
55	北海道松法川北岸遺跡出土品	考古資料	羅臼町	H27. 9. 4
56	旧網走監獄	建造物	網走市	H28. 2. 9
57	旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）	建造物	網走市	H28. 2. 9
58	北海道豊原4遺跡土坑出土品	考古資料	函館市	H28. 8. 17
59	旧双葉幼稚園園舎	建造物	帯広市	H29. 7. 31
60	北海道八千代A遺跡出土品	考古資料	帯広市	H30. 10. 31
61	旧相馬家住宅	建造物	函館市	H30. 12. 25

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21 追加指定 H6. 12. 21
2	松前神楽	函館市・小樽市・北斗市・松前町・知内町・木古内町 七飯町・鹿部町・森町・八雲町・長万部町・今金町 せたな町・島牧村・寿都町・黒松内町・蘭越町 喜茂別町・京極町・倶知安町・共和町・岩内町・泊村 神恵内村・仁木町・小平町	H30. 3. 8

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシヤマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡 松前氏城跡 福山城跡(追加指定) 館城跡(追加指定) 松前氏城跡 福山城跡(追加指定)	松前町 厚沢部町 松前町 厚沢部町 松前町	S10. 6. 7 H14. 9. 20 H25. 10. 17 H25. 10. 17 H27. 3. 10

ー	モシリヤ砦跡 (H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
ー	鶴ヶ岱チャランケ砦跡(H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
6	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
7	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
8	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16
9	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
10	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
11	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
12	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
13	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
14	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
15	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
16	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
17	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
18	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
19	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23
20	標津遺跡群 伊茶仁カリカリス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
21	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
22	大館跡	松前町	S52. 4. 5
23	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
24	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
25	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
26	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
27	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
28	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
29	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
30	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
31	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
32	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
33	旧島松駅通所	北広島市	S59. 7. 25
34	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
35	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
36	北黄金貝塚 北黄金貝塚(追加指定)	伊達市 伊達市	S62. 12. 25 H25. 10. 17

37	入江・高砂貝塚 入江・高砂貝塚(追加指定)	洞爺湖町 洞爺湖町	S63.5.13 H23.9.21
38	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63.5.17
39	白滝遺跡群	遠軽町	H1.1.9
40	ピリカ遺跡	今金町	H6.4.26
41	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9.3.11
42	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアツペツチャシ跡	新ひだか町・ 日高町	H9.12.2
43	江別古墳群	江別市	H10.9.11
44	大谷地貝塚	余市町	H12.11.20
45	大船遺跡	函館市	H13.8.13
46	カリンバ遺跡	恵庭市	H17.3.2
47	鷺ノ木遺跡 鷺ノ木遺跡(追加指定)	森町 森町	H18.1.26 H24.9.19
48	垣ノ島遺跡	函館市	H23.2.7
49	旧奥行臼駅通所	別海町	H23.9.21
50	釧路川流域チャシ跡群 (※モシリヤ砦跡、鶴ヶ岱チャランケ砦跡を統合するとともに周辺9 チャシを追加)	釧路市・釧路町・ 弟子屈町・標茶町	H27.3.17
51	旧歌棄佐藤家漁場	寿都町	H28.3.1
52	様似山道	様似町	H30.2.13
53	猿留山道	えりも町	H30.2.13
54	チャシコツ岬上遺跡	斜里町	H31.2.26

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13.12.14
2	旧岩船氏庭園(香雪園)	函館市	H13.8.13
3	ピリカノカ 九度山(クトゥンヌプリ)	名寄市	H21.7.23
	黄金山(ピンネタイオルシペ)	石狩市	H21.7.23
	神威岬(カムイエトゥ)	枝幸町・浜頓別町	H22.2.22
	襟裳岬(オンネエンルム)	えりも町	H22.8.5
	瞰望岩(インカルシ)	遠軽町	H23.2.7
	カムイチャシ	豊浦町	H23.2.7
	絵鞆半島外海岸	室蘭市	H24.1.24
	十勝幌尻岳(ポロシリ)	帯広市・中札内村	H24.9.19
	幌尻岳(ポロシリ)	新冠町・平取町	H25.10.17
	オキクルミのチャシ及びムイノカ	平取町	H26.3.18

〔特別天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ	植 物	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林	植 物	北広島市	S27. 3. 29
3	アポイ岳高山植物群落	植 物	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山	地質鉱物	壮瞥町	S32. 6. 19
5	大雪山	天然保護 区域	上川町・東川町・ 美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ	動 物	主な生息地北海道	S27. 3. 29

〔天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯	植 物	倶知安町・京極町・ 喜茂別町・真狩村・ ニセコ町	T10. 3. 3
2	円山原始林	植 物	札幌市	T10. 3. 3
3	藻岩原始林	植 物	札幌市	T10. 3. 3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地	植 物	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落	植 物	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林	植 物	登別市	T13. 12. 9
7	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯	植 物	厚沢部町	S 3. 2. 7
8	オオミズナギドリ繁殖地	動 物	松前町	S3. 3. 24
9	歌オブナ自生北限地帯	植 物	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地	動 物	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬	動 物	—	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地	動 物	羽幌町	S13. 8. 8
13	名寄鈴石	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
15	根室車石	地質鉱物	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地	植 物	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地	植 物	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地	動 物	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地	動 物	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒョウモン	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマガラ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
24	イヌワシ	動 物	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトルリシジミ	動 物	主な生息地北海道	S42. 5. 2

26	釧路湿原	天然保護 区域	標茶町・鶴居村・ 釧路町	S42.7.6
27	オジロワシ	動 物	主な生息地北海道・ 新潟県	S45.1.23
28	オオワシ	動 物	主な生息地北海道・ 石川県・福井県	S45.1.23
29	沙流川源流原始林	天然保護 区域	日高町	S45.12.4
30	エゾシマフクロウ	動 物	主な生息地北海道	S46.5.19
31	コクガン	動 物	主な生息地北海道・ 青森県・秋田県	S46.5.19
32	ヒシクイ	動 物	主な生息地北海道・ 青森県・宮城県・ 新潟県・石川県	S46.6.28
33	マガン	動 物	主な生息地北海道・ 青森県・宮城県・ 新潟県・石川県	S46.6.28
34	女満別湿生植物群落	植 物	大空町	S47.6.14
35	松前小島	天然保護 区域	松前町	S47.12.12
36	ヒメチャマダラセセリ	動 物	主な生息地北海道	S50.2.13
37	エゾミカサリュウ化石	地質鉱物	三笠市	S52.7.16
38	標津湿原	天然保護 区域	標津町	S54.8.7
39	焼尻の自然林	植 物	羽幌町	S58.8.30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メラン ジュ帯	植物・地質 鉱物	夕張市・南富良野町	H8.6.19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地	植物・地質 鉱物	足寄町	H12.9.6

〔重要伝統的建造物群保存地区〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	函館市元町末広町	函館市	H1.4.21

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19.7.16 追加選定 H28.3.1

・国指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

(3) 道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、保護の対象として北海道教育委員会が指定した文化財です。

[有形文化財]

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	考古資料	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	建造物	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	彫 刻	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	彫 刻	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	絵 画	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	建造物	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	建造物	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	建造物	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	建造物	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	建造物	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯡供養塔	建造物	森 町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	建造物	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	考古資料	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	歴史資料	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鎌遺跡出土の遺物	考古資料	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	考古資料	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	建造物	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	考古資料	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	考古資料	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	歴史資料	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	絵 画	函館市	S43. 3. 29
22	椴法華出土の尖底土器	考古資料	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	建造物	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	考古資料	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	工 芸	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	古 文 書	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅通	建造物	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	建造物	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5

33	美唄屯田兵屋	建造物	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	考古資料	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	建造物	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	考古資料	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	彫刻	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	彫刻	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	彫刻	上ノ国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	彫刻	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	絵画	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	考古資料	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	建造物	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K-446遺跡出土の遺物	考古資料	札幌市	S55. 8. 12
45	南川遺跡出土の遺物	考古資料	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイボ遺跡出土の遺物	考古資料	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	建造物	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	工芸	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	建造物	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	彫刻	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	建造物	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	建造物	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	建造物	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	彫刻	松前町	S63. 9. 10
55	木造地藏菩薩立像	彫刻	八雲町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	考古資料	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	彫刻	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	建造物	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	歴史資料	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	彫刻	小樽市	H6. 2. 9
63	奥行臼駅通	建造物	別海町	H6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	考古資料	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カムイノミの図	絵画	豊頃町	H13. 3. 30
66	光明寺寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	歴史資料	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	古文書	福島町	H16. 9. 22

70	木造十一面観音立像	彫刻	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	考古資料	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	考古資料	根室市	H20. 3. 18
73	大乘妙典一千部供養塔	歴史資料	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	歴史資料	江別市(北海道立図書館)	H22. 3. 16
75	大麻 3 遺跡出土の土偶	考古資料	江別市	H24. 3. 19
76	二風谷遺跡群出土品	考古資料	平取町	H24. 3. 19
77	斜里朱円周堤墓群出土品	考古資料	斜里町	H25. 3. 29
78	入江貝塚出土品	考古資料	洞爺湖町	H26. 3. 31
79	北海道家庭学校礼拝堂	建造物	遠軽町	H27. 3. 31
80	屯田兵絵物語 附 屯田絵巻	歴史資料	旭川市	H28. 3. 31
81	滝川屯田兵文書(第二大隊第三中隊・第四中隊文書)	歴史資料	滝川市	H28. 3. 31
82	新琴似村屯田兵村記録	歴史資料	札幌市	H28. 3. 31
83	上ノ国八幡宮本殿	建造物	上ノ国町	H29. 3. 31
84	矢不来館跡出土品	考古資料	北斗市	H29. 3. 31
85	青苗遺跡出土品	考古資料	奥尻町	H29. 3. 31
86	巖島神社本殿	建造物	増毛町	H30. 3. 30
87	巖島神社奉納絵馬	絵画	増毛町	H30. 3. 30

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鮫様(妙亀・法鮫大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鮫様(龍神・妙亀菩薩・鮫神像)	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30

7	姥神大神社渡御祭	江差町	H31. 3. 19
---	----------	-----	------------

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓群 (H25. 3. 29「斜里朱円周堤墓及び出土遺物」から名称変更)	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家噴墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鋳炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡 岩内東山円筒文化遺跡（追加指定、一部解除）	岩内町 岩内町	S43. 3. 29 H29. 3. 31
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッペ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

[天然記念物]

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	植 物	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	地質鉱物	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	植 物	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	植 物	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	植 物	礼文町	S34. 9. 11
6	当麻鍾乳洞	地質鉱物	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	植 物	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	植 物	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	動 物	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	植 物	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	天然保護区域	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球顆	地質鉱物	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	地質鉱物	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	地質鉱物	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	植 物	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	植 物	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	地質鉱物	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	地質鉱物	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	植 物	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	動 物	鹿追町・上士幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	植 物	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮎生息地	動 物	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	地質鉱物	乙部町	S47. 4. 1
26	オシユンコシユン粗粒玄武岩柱状節理	地質鉱物	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露頭	地質鉱物	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	地質鉱物	帯広市	S49. 12. 6
29	タキカワカイギウ化石標本	地質鉱物	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	植 物	礼文町	H 6. 6. 3
31	黄金水松	植 物	芦別市	H14. 3. 29
32	空知大滝罅穴群	地質鉱物	芦別市	H23. 3. 15
33	西別湿原ヤチカンバ群落地	植 物	別海町	H23. 3. 15
34	ホバツアラキリュウ化石	地質鉱物	むかわ町	H29. 9. 29
35	ヌマタネズミイルカ化石	地質鉱物	沼田町	H30. 10. 30

・道指定文化財一覧は→<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-do-sitei.htm>

(4) 管内別市町村指定等文化財一覧

(令和元年5月1日現在)

管内	有形文化財		無形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天然 記念物		伝統的 建造物群 保存地区	計
	建造物	美術 工芸品		有形	無形						
	件数	(棟数)									
空知	17	(16)	37	9	4	11	11	0	9	0	98
石狩	9	(9)	33	2	6	3	5	0	4	0	62
後志	12	(15)	31	2	0	10	26	2	10	0	93
胆振	7	(6)	45	5	11	9	23	1	30	0	131
日高	0	(0)	19	5	0	0	3	1	1	0	29
渡島	2	(2)	118	0	18	15	9	4	8	1	175
檜山	6	(9)	49	0	10	13	4	1	1	0	84
上川	23	(24)	3,982	6	1	10	16	0	20	0	4,058
留萌	3	(3)	8	2	3	5	43	0	1	0	65
宗谷	15	(15)	13	1	1	2	14	0	7	0	53
樺ノツ	9	(10)	13	0	5	1	7	0	7	0	42
十勝	3	(3)	32	7	5	3	8	3	15	0	76
釧路	4	(4)	13	1	0	3	6	0	14	0	41
根室	12	(16)	20	1	1	1	7	0	22	0	64
合計	122	(132)	4,413	41	65	86	182	12	149	1	5,071

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/R01shichousonbunkazai.pdf>

・函館市（渡島）が定める伝統的建造物群保存地区は、国選定「重要伝統的建造物群保存地区」の範囲と同じ。

(5) 管内別登録文化財

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)若しくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

管内	有形文化財	記念物
空知	25	0
石狩	27	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	3	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	21	1
檜山	1	0
上川	16	0
留萌	0	0
宗谷	3	0

管内	有形文化財	記念物
樺ノツ	9	0
十勝	10	0
釧路	1	0
根室	8	0
合計	144	1

(6) 登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財（建造物）もしくは記念物（名勝）のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録した文化財です。

〔登録有形文化財(建造物)〕

No.	名 称	所 在 地	登録年月日
1	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
2	北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	札幌市	H9. 9. 3
3	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
4	北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	札幌市	H10. 9. 2
5	日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	札幌市	H10. 9. 2
6	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
7	旧国鉄土幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
8	旧国鉄土幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄土幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄土幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	北海道知事公館（旧三井クラブ）	札幌市	H11. 10. 14
12	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
13	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
14	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
15	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
16	北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道教育大学函館校北方教育資料室（旧函館師範学校）	函館市	H12. 4. 28
20	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）	苫小牧市	H12. 4. 28
21	北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）	平取町	H12. 4. 28
22	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
23	プレイリー・ハウス（旧佐田邸）	函館市	H12. 4. 28
24	エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	札幌市	H12. 9. 26
25	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
26	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
27	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
28	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
32	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28

33	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
35	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
36	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫二号倉庫 (リハーサルホール)	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫三号倉庫 (チェアーズギャラリー)	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫十号倉庫 (デザインギャラリー)	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十一号倉庫 (大雪地ビール館)	旭川市	H13. 11. 20
42	あさでん春光整備工場 (旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場)	旭川市	H13. 11. 20
43	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
44	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
45	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
46	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
47	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
48	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
50	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
51	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥棟	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
59	函館大手町ハウス (旧浅野セメント函館営業所)	函館市	H17. 7. 12
60	遺愛学院 (旧遺愛女学校) 謝恩館	函館市	H17. 7. 12
61	J R 小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
62	J R 小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
63	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
64	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
65	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
66	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
67	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
68	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18

70	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
71	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
72	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
73	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
74	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	栗山町	H18. 10. 18
75	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
83	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
84	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
85	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
86	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
87	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
88	星槎大学（旧頼城小学校）校舎	芦別市	H20. 3. 7
89	星槎大学（旧頼城小学校）体育館	芦別市	H20. 3. 7
90	旧上藻別駅通所	紋別市	H20. 10. 23
91	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21. 1. 8
92	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町	H21. 8. 7
93	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町	H21. 8. 7
94	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町	H21. 8. 7
95	中標津町郷土館緑ヶ丘分館（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町	H21. 8. 7
96	正行寺鐘楼	厚岸町	H21. 8. 7
97	黒田家住宅主屋	札幌市	H22. 9. 10
98	黒田家住宅蔵	札幌市	H22. 9. 10
99	黒田家住宅表門	札幌市	H22. 9. 10
100	黒田家住宅石塀	札幌市	H22. 9. 10
101	旧青山家別邸主屋	小樽市	H22. 9. 10
102	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市	H22. 9. 10
103	旧青山家別邸板塀	小樽市	H22. 9. 10
104	夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	夕張市	H23. 10. 28
105	高龍寺本堂	函館市	H24. 2. 23
106	高龍寺開山堂	函館市	H24. 2. 23

107	高龍寺山門及び袖塀	函館市	H24. 2. 23
108	高龍寺防火塀	函館市	H24. 2. 23
109	高龍寺金毘羅堂	函館市	H24. 2. 23
110	高龍寺水盤舎	函館市	H24. 2. 23
111	高龍寺鐘楼	函館市	H24. 2. 23
112	高龍寺宝蔵	函館市	H24. 2. 23
113	高龍寺位牌堂	函館市	H24. 2. 23
114	高龍寺土塀	函館市	H24. 2. 23
115	沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市	H24. 8. 13
116	柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市	H24. 8. 13
117	博物館網走監獄煉瓦造独居房	網走市	H24. 8. 13
118	博物館網走監獄鏡橋入口哨舎	網走市	H24. 8. 13
119	博物館網走監獄鏡橋出口哨舎	網走市	H24. 8. 13
120	博物館網走監獄西門哨舎	網走市	H24. 8. 13
121	博物館網走監獄裏門	網走市	H24. 8. 13
122	博物館網走監獄裏門哨舎	網走市	H24. 8. 13
123	旧岡田家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
124	旧岡田家住宅蔵	旭川市	H25. 6. 21
125	山崎家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
126	旧瀬戸家住宅主屋	稚内市	H25. 6. 21
127	遠藤家住宅主屋	札幌市	H26. 10. 7
128	遠藤家住宅蔵	札幌市	H26. 10. 7
129	遠藤家住宅南石蔵	札幌市	H26. 10. 7
130	遠藤家住宅北石蔵	札幌市	H26. 10. 7
131	遠藤家住宅表門	札幌市	H26. 10. 7
132	遠藤家住宅塀	札幌市	H26. 10. 7
133	飯田家住宅座敷棟	日高町	H26. 12. 19
134	旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟（旧国鉄旭川車両センター木機乾燥場）	旭川市	H27. 11. 17
135	旭川市市民活動交流センターホール棟（旧国鉄旭川車両センター第二木機職場）	旭川市	H27. 11. 17
136	北海道護国神社平成館（旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館）	旭川市	H27. 11. 17
137	飯田家住宅主屋	日高町	H27. 11. 17
138	旧藤澤家住宅主屋	函館市	H28. 11. 29
139	函館Y W C A会館	函館市	H28. 11. 29
140	宮本商産旧本社ビル	帯広市	H29. 9. 29
141	旧国鉄士幌線糠平橋梁	上士幌町	H29. 9. 29
142	旧国鉄士幌線三の沢橋梁	上士幌町	H29. 9. 29

143	旧国鉄士幌線幌加駅プラットホーム	上士幌町	H29. 9. 29
144	旧肥田製陶工場（E B R I）	江別市	H31. 3. 29

〔登録記念物〕

No.	名 称	所 在 地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

・国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj. pref. hokkaido. lg. jp/hk/bnh/bun-hogo-rokuitiran. htm>

(7) 平成 30 北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

No	市町村等名	事業名又は対象の文化財等
1	岩見沢市	岩見沢郷土科学館 常設展示
2	夕張市	旧北炭夕張炭鋳模擬坑道の公開
3	美唄市	美唄市郷土史料館 常設展示〈市指定文化財〉「光珠内いん石」、「友情人形」展示
4	美唄市	〈道指定文化財〉「美唄屯田兵屋」、〈市指定文化財〉「美唄屯田騎兵隊火薬庫」、「旧桜井家住宅」 常設展示
5	美唄市	〈市指定文化財〉「4110 形式十輪連結タンク機関車 2 号」、旧美唄鉄道東明駅舎 常設展示
6	芦別市	星の降る里百年記念館 常設展示
7	三笠市	三笠市立博物館 常設展示
8	滝川市	〈道指定天然記念物〉「タキカワカイギュウ」展示
9	滝川市	〈市指定文化財〉屯田兵屋の公開
10	滝川市	〈市指定文化財〉牧羊用石造サイロの公開
11	滝川市	〈市指定文化財〉太郎吉蔵（旧五十嵐酒造店倉庫）の公開
12	深川市	深川市郷土資料館 常設展示
13	奈井江町	第 56 回奈井江町総合文化祭 芸能発表会
14	由仁町	ゆめっく館 常設展示
15	新十津川町	〈町指定有形文化財〉絵馬（玉置神社奉祀之景） 常設展示
16	雨竜町	〈町指定民俗文化財〉獅子神楽の公演
17	秩父別町	〈町指定有形文化財〉屯田の鐘公開
18	秩父別町	〈町指定無形民俗文化財〉ちくし神楽獅子舞の公演
19	沼田町	沼田町化石体験館開館 10 周年記念シンポジウム
20	沼田町	〈道指定有形文化財〉本願寺駅通見学会
21	沼田町	沼田町化石体験館 常設展示
22	沼田町	沼田町生涯学習センターゆめっくる 企画展

23	札幌市	〈国指定重要文化財〉旧札幌農学校演武場（時計台）の公開
24	札幌市	時計台創建 140 周年記念式典 第 37 回時計台まつり記念コンサート
25	札幌市	〈国指定重要文化財〉豊平館の公開
26	札幌市	豊平館の歴史と展示物に関わる講座と特別観覧
27	札幌市	豊平館観覧と晩秋の中島公園探訪
28	札幌市	〈国指定重要文化財〉八窓庵（旧舎那院忘筌）の公開（外観のみ）
29	札幌市	〈国指定史跡〉琴似屯田兵村兵屋跡の公開
30	札幌市	〈道指定有形文化財〉旧永山武四郎邸の公開
31	札幌市	〈市指定有形文化財〉清華亭の公開
32	札幌市	〈市指定有形文化財〉旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）の公開
33	札幌市	〈市指定有形文化財〉新琴似屯田兵中隊本部の公開
34	札幌市	〈市指定有形文化財及び史跡〉札幌村・大友亀太郎関係歴史資料及び史跡の公開
35	札幌市	〈市指定史跡〉手稲山口バッタ塚の公開
36	札幌市	〈市指定有形文化財〉札幌市資料館（旧札幌控訴院）の公開
37	札幌市	〈国登録有形文化財〉エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）の公開
38	札幌市	〈国登録有形文化財〉旧西岡水源池取水塔の公開（外観のみ）
39	札幌市	札幌市埋蔵文化財センター展示室 市内出土埋蔵文化財の公開
40	札幌市	丘珠縄文遺跡展示室 出土品の公開
41	江別市	江別市教委度資料館 常設展示 (国指定重要文化財、道指定有形文化財、市指定有形文化財含む)
42	江別市	〈道指定有形文化財〉「野幌屯田兵第二中隊本部」の公開
43	千歳市	体験学習会「勾玉をつくろう！」
44	千歳市	体験学習会「縄文クッキーをつくろう！」
45	千歳市	公開講座 1「青森県つがる市田小屋野貝塚・亀ヶ岡石器時代遺跡について」
46	恵庭市	恵庭市郷土資料館 常設展示
47	恵庭市	企画展「特別公開 2018 カリンバ遺跡重要文化財漆塗り装身具」
48	恵庭市	市内遺跡ミニ展示
49	恵庭市	企画展「道央の先史時代のアクセサリ」
50	北広島市	〈市指定有形文化財〉北海道 150 周年記念事業「北広島のお米から北海道のお米へ」
51	北広島市	〈国指定史跡〉2018 旧島松駅通所ライトアップ
52	北広島市	〈市指定有形文化財〉北広島市エコミュージアムセンター知新の駅 常設展示

53	北広島市	〈国指定史跡〉旧島松駅通所
54	石狩市	〈国指定史跡〉 荘内藩ハママシケ陣屋跡
55	石狩市	はまます郷土資料館 常設展示（〈市指定有形文化財〉旧白鳥番屋）
56	石狩市	いしかり砂丘の風資料館 常設展示
57	石狩市	〈市指定文化財〉旧長野商店 公開
58	石狩市	〈市指定文化財〉「古潭龍澤寺の鰐口」展示
59	当別町	当別伊達記念館常設展示
60	小樽市	〈重要文化財〉旧日本郵船(株)小樽支店の公開
61	小樽市	宗円寺五百羅漢像の公開
62	小樽市	旧手宮鉄道施設（小樽市総合博物館構内）の公開
63	小樽市	手宮洞窟の公開
64	小樽市	ニシン漁場建築（ニシン御殿）の公開
65	ニセコ町	文化財保護の啓発
66	倶知安町	倶知安風土館 常設展示
67	共和町	共和町かかし古里館 文化財展示事業
68	岩内町	岩内町郷土館 常設展示
69	仁木町	広報誌への掲載（町内全戸配布）
70	余市町	第43回特別展「余市 江戸から昭和のお酒事情」
71	室蘭市	〈市指定文化財〉輪西屯田兵関係資料、仙台藩角田領添田家関係資料、南部藩陣屋跡出土砲弾及び友情人形の公開
72	室蘭市	〈市指定文化財〉白鳥大橋海底部等出土の貝化石及び材化石の標本の公開
73	室蘭市	〈市指定文化財〉輪西屯田兵記念碑、旧火薬庫及び関係資料の公開
74	室蘭市	〈国指定文化財〉史跡東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡（同台場・勤番所跡）の公開
75	室蘭市	〈国指定文化財〉名勝ピリカノカ絵鞆半島外海岸の公開
76	室蘭市	〈国登録有形文化財〉室蘭市旧室蘭駅舎の公開
77	苫小牧市	苫小牧市美術博物館 文化の日無料開放日
78	苫小牧市	苫小牧市美術博物館 常設展示
79	登別市	登別市郷土資料館 常設展示
80	登別市	特別展「明治期の登別～アイヌ、侍、四国・淡路の人々～」
81	登別市	のぼりべつ文化交流館カント・レラ 常設展示（「土地の記憶たち」）
82	豊浦町	秋の礼文華山道と豊浦町の文化財を訪ねて
83	洞爺湖町	縄文ロビー講座 2018

84	洞爺湖町	入江・高砂貝塚館 常設展示
85	洞爺湖町	虻田郷土資料館 常設展示
86	壮瞥町	〈町指定文化財〉久保内獅子舞保存会
87	壮瞥町	〈町指定文化財〉仲洞爺獅子舞保存会
88	日高町	日高町立門別図書館郷土資料館 常設展
89	平取町	第24回特別展 チブサンケ
90	平取町	〈重要有形民俗文化財〉北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用具コレクション
91	平取町	〈登録有形文化財〉北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）
92	新冠町	〈道指定特別天然記念物〉「新冠泥火山」の公開
93	新冠町	〈国指定文化財〉「名勝ピリカノカ幌尻岳（ポロシリ）」の紹介（案内看板、郷土資料館での展示による）
94	新冠町	〈国指定重要無形民俗文化財〉「アイヌ古式舞踊」をはじめとする新冠のアイヌ文化の紹介
95	新ひだか町	平成30年度アイヌ工芸品展「キムンカムイとアイヌ：春夏秋冬」
96	新ひだか町	平成30年度アイヌ工芸品展関連事業 ミュージアムコンサート フルートとギターによる夫婦ユニット「ホラネロ」
97	新ひだか町	平成30年度アイヌ工芸品展関連事業 講演会 「マタギの世界：阿仁マタギを中心として」
98	新ひだか町	平成30年度アイヌ工芸品展関連事業 ワークショップ 「アイヌの弓矢作りと体験」
99	新ひだか町	〈道指定有形文化財〉「静内御殿山墳墓群出土の遺物」の公開
100	新ひだか町	〈町指定有形文化財〉「静内中野式土器」の公開
101	新ひだか町	〈国指定重要無形民俗文化財〉「アイヌ古式舞踊」の映像 ※新ひだか町博物館の映像展示
102	新ひだか町	〈町指定無形文化財〉「淡路豊年桝踊り」の映像 ※新ひだか町博物館の映像展示
103	新ひだか町	〈町指定無形文化財〉「歌笛越前踊り」の映像 ※新ひだか町博物館の映像展示
104	新ひだか町	〈町指定有形文化財〉「エゾオオカミの頭蓋骨」の公開
105	新ひだか町	〈国指定史跡〉「シベチャリ川流域チャシ跡群及びアッペツチャシ跡」のうち、シベチャリ川流域チャシ跡群の公開
106	新ひだか町	〈道指定史跡〉「静内御殿山墳墓群」の公開
107	新ひだか町	〈町指定名勝〉「蓬萊山」の公開
108	新ひだか町	〈町指定史跡〉ショップチャシ跡の公開

109	浦河町	〈町指定文化財〉 東栄出土一括土器
110	浦河町	〈町指定文化財〉 迎賓馬車
111	様似町	〈国指定史跡〉 「様似山道」 パネル展
112	えりも町	えりも町の歴史を振り返る郷土資料展
113	函館市	函館市旧イギリス領事館 常設展示
114	函館市	文化の日企画 「函館市北方民族資料館ツアー」
115	函館市	企画コーナー「宇江佐真理～没後3年に寄せて～」
116	函館市	石川啄木直筆資料展「明治41年6月～8月の書簡より」
117	函館市	体験！日本画教室
118	函館市	青函連絡船終航30年「思い出の青函連絡船」
119	函館市	平成30年度「新収蔵資料・アイヌ絵展」
120	函館市	市立函館博物館 本館 臨時開館
121	函館市	市立函館博物館郷土資料館「旧金森洋物店」常設展示
122	函館市	市立函館博物館 郷土資料館 臨時開館
123	函館市	縄文体験講座 秋の自然観察会
124	函館市	縄文体験講座 秋の縄文染め
125	函館市	〈国宝〉 「中空土偶」 常設展示
126	函館市	企画展 南かやべ縄文のあゆみ
127	松前町	日本遺産認定記念講演「石造物が語る日本海交易と松前湊」
128	松前町	〈町指定有形文化財〉 アイヌ民族関係資料
129	松前町	〈町指定有形文化財〉 斎藤流松前家資料
130	松前町	〈町指定有形文化財〉 松前家 伝 銅雀台瓦硯
131	松前町	〈道指定有形文化財〉 〈日本遺産構成文化財〉 松前屏風
132	松前町	〈町指定有形文化財〉 〈日本遺産構成文化財〉 松本家資料
133	松前町	ミニ企画展 日本海交易と松前湊～ヒト・モノの集散地 まつまえ～
134	松前町	〈道指定有形文化財〉 求福山山車の人形 その他附属品
135	松前町	〈道指定有形文化財〉 薙刀 名 堀井正次
136	福島町	埋蔵文化財一般公開
137	福島町	埋蔵文化財一般公開
138	福島町	〈町指定文化財〉 円空仏（レプリカ）一般公開
139	知内町	知内町郷土資料館通常展示
140	北斗市	〈市指定文化財〉 鶉山道石版画の展示

141	北斗市	〈市指定文化財〉越前すり鉢の展示
142	北斗市	第7回特別展「いまふりかえる昭和の北斗展」～新しい時代と平和へのおもいをこめて～
143	北斗市	北斗市郷土資料館祭り（勾玉作り等）
144	七飯町	〈町指定文化財〉迫田家文書
145	七飯町	〈町指定文化財〉飯田甚兵衛の地蔵
146	森町	鷲ノ木遺跡と榎本武揚上陸地見学会
147	森町	〈町指定文化財〉イカ形土製品
148	八雲町	〈国指定重要文化財〉企画展「コタン温泉遺跡出土品展」
149	長万部町	埋蔵文化財展示コーナー 常設展示及び収蔵展示
150	江差町	〈国指定重要文化財〉「旧中村家住宅」の公開
151	江差町	〈道指定有形文化財〉「旧檜山爾志郡役所」の公開
152	上ノ国町	〈重要文化財〉旧笹浪家住宅の公開
153	上ノ国町	〈史跡〉勝山館跡ガイダンス施設の公開
154	上ノ国町	上之国館調査整備センター 常設展示
155	乙部町	乙部町公民館郷土資料室 常設展示
156	せたな町	せたな町美術館～新覚吉郎回顧展～
157	せたな町	〈町指定有形文化財〉明珍家永製作の筋兜
158	せたな町	〈町指定有形文化財〉青い目の人形
159	せたな町	〈町指定有形文化財〉阿波人形浄瑠璃
160	せたな町	〈町指定有形文化財〉荻野吟子の遺品・資料
161	せたな町	〈道指定有形文化財〉南川遺跡出土遺物
162	奥尻町	〈道指定文化財〉青苗遺跡出土品公開事業
163	奥尻町	〈町指定文化財〉丁字頭勾玉公開事業
164	奥尻町	歴史民俗資料公開事業
165	今金町	〈国指定重要文化財〉史跡ピリカ遺跡出土石器の一般公開
166	今金町	〈町指定重要文化財〉上田式豆まき器の一般公開
167	今金町	〈町指定重要文化財〉ピリカカイギョウ復元骨格模型の一般公開
168	旭川市	上川郡農作試験所事務所棟（忠別太駅通第一美英舎） 公開
169	旭川市	養蚕民家 公開
170	旭川市	旧神居古潭駅舎 公開
171	旭川市	旭川兵村中隊記録及び屯田物語原画綴り、旭川兵村中隊記録（追加）公開
172	旭川市	第七師団関係記録 公開

173	旭川市	博物館無料開放 アイヌ文化に親しむ日
174	士別市	士別市立博物館 常設展示
175	名寄市	書籍の販売による PR
176	名寄市	名寄市北国博物館 常設展示室
177	富良野市	富良野市博物館 常設展示
178	富良野市	リーフレットの配布による PR
179	鷹栖町	鷹栖町郷土資料館 常設展示
180	東神楽町	東神楽町郷土資料展示会
181	比布町	比布町郷土資料館 常設展示
182	東川町	〈町指定無形民俗文化財〉町民文化祭 羽衣太鼓の公演
183	東川町	〈町指定有形文化財／美術工芸品〉大雪山アーカイブス常設展示
184	東川町	〈町指定有形文化財／美術工芸品〉織田コレクション常設展示
185	東川町	〈町指定有形文化財／美術工芸品〉藤野千鶴子絵画常設展示
186	東川町	〈町指定有形文化財／建造物〉郷土館常設展示
187	東川町	第1回大雪山の〔価値〕を知り、「活かす」ためのフォーラム
188	美瑛町	〈町指定文化財第1号〉「高橋北修筆（絵画）」 常設展示
189	中富良野町	中富良野町郷土館 常設展示
190	南富良野町	郷土資料の展示
191	南富良野町	南富良野町文化協会文化祭
192	占冠村	占冠村総合文化祭
193	下川町	ふるさと交流館 常設展示
194	下川町	郷土資料展示保存施設 常設展示
195	美深町	文化会館 COM100 郷土資料室 郷土資料の展示
196	美深町	伝承遊学館 郷土資料の展示
197	留萌市	郷土学習講座（3回目）「大昔の留萌」
198	増毛町	〈重要文化財〉旧商家丸一本間家公開
199	小平町	おびらふるさと塾「旧花田家番屋が重要文化財になるまでの背景と北海道の文化財民家」角 幸博氏（北海道大学名誉教授・NPO 歴史的地域資産研究機構代表理事）
200	苫前町	〈町指定有形文化財〉須恵器（甕）・修羅
201	苫前町	〈町指定無形民俗文化財〉苫前町くま獅子舞の公演
202	羽幌町	〈町指定無形文化財〉オロロン太鼓の発表会
203	天塩町	天塩川歴史資料館常設展示

204	稚内市	稚内市北方記念館 常設展示
205	浜頓別町	ブタウス遺跡発掘調査展示(常設展示)
206	浜頓別町	「日の出遺跡(浜頓別町クッチャロ湖畔竪穴群)展」
207	浜頓別町	北海道命名 150 周年記念展示「松浦武四郎の生涯とアイヌ語地名」
208	枝幸町	地域の埋蔵文化財公開事業
209	枝幸町	勾玉づくり講座
210	礼文町	〈重要文化財〉北海道船泊遺跡出土品展示公開事業
211	礼文町	〈重要文化財〉北海道船泊遺跡出土品特別展示会
212	礼文町	〈道指定有形文化財〉礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像展示公開事業
213	礼文町	〈町指定有形文化財〉上泊 3 遺跡出土遺物展示公開事業
214	礼文町	〈町指定無形民俗文化財〉四ヶ散米舞行列映像公開事業
215	礼文町	〈町指定有形民俗文化財〉巖島神社絵馬公開事業
216	礼文町	礼文島遺産公開事業
217	礼文町	縄文八十八箇所めぐりスタンプラリー
218	利尻町	〈道・町指定有形文化財〉亦稚貝塚出土物の公開
219	利尻富士町	利尻島郷土資料館常設展示公開事業
220	利尻富士町	古代の利尻展公開事業
221	利尻富士町	まちなかフィールドワーク
222	利尻富士町	利尻富士町文化祭開会式
223	網走市	モヨロ貝塚出土資料の特別展示(市内宿泊施設)
224	網走市	モヨロ貝塚出土資料の特別展示(女満別空港)
225	網走市	モヨロ貝塚出土資料の特別展示(網走市役所)
226	網走市	モヨロ貝塚出土資料の常設展示(モヨロ貝塚館)
227	網走市	モヨロ貝塚出土資料の常設展示(網走市立郷土博物館)
228	北見市	北網圏北見文化センター 博物常設展示
229	北見市	ミニ企画展「常呂川のアイヌ文化」
230	北見市	美里洞窟遺跡公開
231	北見市	〈市指定文化財〉武華駅通(留辺蘂町開拓資料館) 公開
232	北見市	端野町歴史民俗資料館 常設展示
233	北見市	ところ遺跡の館 常設展示
234	北見市	ところ埋蔵文化財センター 常設展示
235	北見市	〈市指定文化財〉ピアソン記念館 公開

236	北見市	〈市指定文化財〉北見ハッカ記念館 公開
237	北見市	薄荷蒸溜館 常設展示
238	紋別市	〈国登録有形文化財〉旧上藻別駅通所の公開
239	紋別市	〈北海道指定文化財(史跡オムサロ台地堅穴群)〉オムサロ遺跡公園の公開
240	紋別市	〈市指定文化財〉天然記念物小向原生花園の公開
241	美幌町	美幌博物館常設展示
242	美幌町	特別展「アイヌ文化に生きる植物」
243	美幌町	美幌博物館講座(歴史編) 最古の家畜、イヌと人の関係史
244	美幌町	美幌博物館講座(歴史編) 歩いて発見! ぶら博物館
245	津別町	津別町郷土資料館 常設展示
246	斜里町	知床博物館 常設展示
247	斜里町	博物館特別展「オホーツク文化の終焉を解き明かす」
248	訓子府町	〈町指定文化財〉増田遺跡・緑丘B遺跡出土遺物展示
249	置戸町	置戸町郷土資料館 常設展示
250	遠軽町	〈重要文化財〉北海道白滝遺跡群出土品の公開
251	遠軽町	〈道指定有形文化財〉幌加川遺跡出土の石器群の公開
252	湧別町	湧別町ふるさと館 JRY 常設展示
253	湧別町	湧別町郷土館 常設展示
254	帯広市	ぶらり帯広・文化財めぐり
255	帯広市	十勝鉄道蒸気機関車・客車公開
256	帯広市	帯広百年記念館常設展示
257	帯広市	埋蔵文化財センター 常設展示
258	音更町	郷土資料室 常設展示
259	士幌町	ふるさと資料館 常設展示
260	士幌町	伝統農業保存伝承館 常設展示
261	士幌町	美濃の家 常設展示
262	芽室町	芽室町ふるさと歴史館 常設展示
263	中札内村	絵画コレクション展示
264	中札内村	第63回中札内村民文化祭
265	中札内村	からまつ館の公開
266	大樹町	大樹町文化祭
267	大樹町	晩成社史跡公園の公開

268	大樹町	旭浜トーチカの公開
269	大樹町	大樹町郷土資料館の公開
270	大樹町	〈道指定史跡〉十勝ホロカヤントー竪穴群の公開
271	広尾町	広尾町海洋博物館・郷土文化保存伝習館 常設展示
272	池田町	池田町郷土資料館 常設展示
273	池田町	開町 120 年記念特別展「懐かしの写真～未来に伝えたい池田のあしあと～」 (池田町郷土資料館)
274	池田町	開町 120 年記念特別展「懐かしの写真～未来に伝えたい池田のあしあと～」 (池田町田園ホール)
275	豊頃町	郷土資料情報室「歴史の森」常設展
276	本別町	本別町指定文化財パネル展
277	足寄町	ナイトミュージアム
278	足寄町	足寄動物化石博物館 常設展示
279	陸別町	〈国指定史跡〉ユクエビラチャシ跡出土品 常設展示
280	浦幌町	近代化遺産の日見学会「列車で巡る東十勝の鉄道史と鉄道遺産」
281	浦幌町	公開シンポジウム「道東過疎地における文化財保護の現状と課題」
282	浦幌町	浦幌町指定無形文化財「開拓獅子舞」
283	浦幌町	アイヌ文化伝製品
284	浦幌町	持ち去られ、還ってきたアイヌ副葬品
285	釧路市	まりも祭りセミナー
286	釧路市	マリモ生育地観察会
287	釧路市	〈市指定有形文化財〉星兜の公開
288	釧路町	釧路町郷土資料館開設及び郷土資料展
289	釧路町	チャシ跡出土品展示
290	厚岸町	古文書教室
291	厚岸町	〈町指定有形文化財〉池田家古文書
292	厚岸町	〈町指定有形文化財〉太田屯田兵遺品
293	浜中町	浜中町総合文化センター 郷土資料展示
294	標茶町	標茶町博物館 常設展示
295	弟子屈町	アイヌ民族衣装試着体験
296	根室市	〈道指定有形文化財〉和田屯田兵村の被服庫の公開
297	別海町	奥行臼散策デー
298	別海町	〈町指定文化財〉奥行臼駅の公開

299	別海町	〈町指定文化財〉旧別海村営軌道風連線奥行臼停留所の公開
300	別海町	〈町指定文化財〉加賀家文書の公開
301	別海町	〈町指定文化財〉野付半島沖マンモスゾウ化石群の公開
302	中標津町	〈国登録有形文化財〉旧北海道農事試験場根室支場陳列館の公開
303	中標津町	〈国登録有形文化財〉旧北海道農事試験場根室支場陳列館の公開・活用「郷土館緑ヶ丘分館オータムフェスタ」
304	中標津町	〈町指定文化財〉「蛙意匠の土器」の公開
305	標津町	松浦武四郎パネル展
306	羅臼町	〈町指定有形文化財〉弘化の釣り鐘
307	羅臼町	〈国指定重要文化財〉北海道松法川北岸遺跡出土品
308	北海道博物館	北海道博物館 第12回企画テーマ展「りんご農家の道具」
309	北海道博物館	クローズアップ展示1「古文書を読む 新着資料 フラーシェム家の古文書」
310	北海道博物館	クローズアップ展示2「北海道の双六あれこれ」
311	北海道博物館	クローズアップ展示3「人と歴史と 一川村カ子と旭川ー」
312	北海道博物館	クローズアップ展示4「仕事とくらしのうつりかわり1 毒矢の禁止、そこからの歩み」
313	北海道博物館	クローズアップ展示5「集治監と囚人労働」
314	北海道博物館	クローズアップ展示6「北海道百年」
315	北海道博物館	クローズアップ展示7「生き物たちの北海道」の150年」
316	北海道立埋蔵文化財センター	連続講座 さらに、縄文文化を知る・学ぶ 「小林達雄の縄文文化研究」
317	北海道立埋蔵文化財センター	連続講座 さらに、縄文文化を知る・学ぶ4 「縄文人に挑戦」
318	北海道立埋蔵文化財センター	常設展示「掘り出された北の歴史」
319	北海道立北方民族博物館	北海道立北方民族博物館 常設展示
320	北海道立北方民族博物館	特別展 「North to the Future 北方から未来へー日本人が出会ったアラスカ」
321	北海道立北方民族博物館	はくぶつかんクラブ「インディアンのテントティピ型ライトづくり」
322	北海道立北方民族博物館	講習会「アイヌ文化講習会 刺繍」
323	北海道立北方民族博物館	ロビー展 平取町立二風谷アイヌ文化博物館巡回展「エカシの記憶を辿って～昭和のアイヌのくらし～」

324	北海道立北方民族博物館	ロビー展講座「エカシの語りをきく」
325	国立大学法人 北海道大学	〈登録有形文化財〉森林記念館（旧標本貯蔵室）の公開
326	国立大学法人 北海道大学	〈国指定重要文化財〉札幌農学校第2農場の公開
327	国立大学法人 北海道大学	旧札幌農学校第2農場ガイド付きショートツアー

・平成30年度北海道文化財保護強調月間は→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkann.htm>

（8）平成30年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員41名を委嘱して計画的に巡視を行い、併せて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝・文 化的景観	天然記念物	伝統的建造 物保存地区	国指定・選 定文化財計	埋蔵文化財 包蔵地
パトロール 対象件数	58	52	13	47	1	171	12,209
パトロール 実施回数	54	69	15	37	1	176	250

（9）平成30年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官、北海道教育委員会又は市町教育委員会の許可が必要となります。

[国指定]

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	8	0	54	62
北海道教育委員会	1	0	16	17
市町教育委員会	22	0	13	35

[道指定]

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	1	0	18	19

(10) 平成 30 年度銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲や美術品として価値のある刀剣類について、新規の登録や所有者変更等の事務を行いました。

登 録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
98	29	811	86	2	1,026

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地数一覧

空	岩見沢市	54	後志	ニセコ町	196	渡島	知内町	32	上川	幌加内町	8	十勝	雄武町	50					
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	62		(上川計)	1,073		(林-ツ計)	2,271					
	美瑛市	6		留寿都村	7		北斗市	108	留萌市	28	帯広市		63						
	芦別市	93		喜茂別町	13		七飯町	73	増毛町	16	音更町		106						
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6	小平町	19	士幌町		40						
	三笠市	12		俱知安町	21		森町	52	苫前町	16	上士幌町		74						
	滝川市	10		共和町	31		八雲町	99	羽幌町	32	鹿追町		51						
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	50	初山別村	7	新得町		31						
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	961	遠別町	5	清水町		37						
	深川市	79		神恵内村	10		江差町	65	天塩町	43	(留萌計)		166	芽室町	65				
	南幌町	0		積丹町	17		上ノ国町	90	稚内市	140	中札内村		5	更別村	16				
	奈井江町	22		古平町	11		厚沢部町	54	猿払村	18	大樹町		34						
	上砂川町	0		仁木町	25		乙部町	111	浜頓別町	20	広尾町		21						
	知	由仁町		37	胆振		余市町	65	檜山	せたな町	70		宗谷	中頓別町	8	勝	幕別町	132	
長沼町		63	赤井川村	67		奥尻町	32	今金町		59	枝幸町	71		池田町	58				
栗山町		37	(後志計)	809		今金町	59	(檜山計)		481	豊富町	16		豊頃町	52				
月形町		8	室蘭市	37		旭川市	216	旭川市		216	礼文町	55		本別町	99				
浦臼町		48	苫小牧市	291		士別市	47	士別市		47	利尻町	11		足寄町	114				
新十津川		15	登別市	33		名寄市	150	名寄市		150	利尻富士町	20		陸別町	55				
妹背牛町		4	伊達市	90		富良野市	141	富良野市		141	幌延町	20		浦幌町	58				
秩父別町		8	豊浦町	20		鷹栖町	28	鷹栖町		28	(宗谷計)	379		(十勝計)	1,111				
雨竜町		5	洞爺湖町	15		東神楽町	25	東神楽町		25	網走市	168		釧路市	137				
北竜町		10	壮瞥町	1		当麻町	18	当麻町		18	北見市	480		釧路町	76				
沼田町		6	白老町	46		比布町	22	比布町		22	紋別市	68		厚岸町	90				
(空知計)		565	安平町	81		愛別町	23	愛別町		23	大空町	65		浜中町	121				
石狩		札幌市	541	日高		厚真町	142	川		上川町	23	オホソ		美幌町	135		釧路	標茶町	208
		江別市	142			むかわ町	106			東川町	23			東川町	23			津別町	64
	千歳市	295	(胆振計)		862	美瑛町	43		美瑛町	43	斜里町		379	鶴居村	73				
	恵庭市	132	日高町		132	上富良野町	37		上富良野町	37	清里町		35	白糠町	31				
	北広島市	62	平取町		127	中富良野町	35		中富良野町	35	小清水町		42	(釧路計)	786				
	石狩市	220	新冠町		43	南富良野町	25		南富良野町	25	訓子府町		267	根室市	308				
	当別町	18	新ひだか町		153	占冠村	11		占冠村	11	置戸町		105	別海町	88				
	新篠津村	2	浦河町		58	和寒町	36		和寒町	36	佐呂間町		38	中標津町	67				
	(石狩計)	1,412	様似町		29	剣淵町	30		剣淵町	30	遠軽町		221	標津町	191				
	後志	小樽市	102		渡島	えりも町	67		川	下川町	70		ク	湧別町	56	室		羅臼町	84
島牧村		24	(日高計)	609		美深町	42	滝上町		46	(根室計)	738							
寿都町		43	函館市	324		音威子府村	10	興部町		39	計 12,224								
黒松内町		51	松前町	122		中川町	10	西興部村		14		(前年比 15 箇所増)							
蘭越町	48	福島町	33	福島町	33	福島町	33	福島町	33										

・平成 31 年 4 月 1 日現在

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」を御覧ください。→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

(2) 平成 30 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積 (ha)
埋蔵文化財保護のための事前協議	641	
平成 30 年度北海道実施の所在調査	118	6,652.964
平成 30 年度北海道実施の試掘調査	37	102.618

(3) 平成 30 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査		管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)		件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)
空知	8	274.013	4	6.797	上川	11	1775.224	4	0.726
石狩	4	48.497	6	40.618	留萌	5	387.994	2	5.071
後志	16	373.611	5	33.314	宗谷	4	621.136	0	0
胆振	19	83.478	6	3.731	ホーツク	10	738.697	1	0.650
日高	5	11.727	0	0	十勝	20	2017.893	4	8.893
渡島	9	99.087	5	2.836	釧路	4	217.487	0	0
檜山	2	3.932	0	0	根室	1	0.190	0	0

(4) 平成 30 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	面積 (㎡)	管内	件数	面積 (㎡)
空知	1	1,400	上川	0	0
石狩	0	10,784	留萌	0	0
後志	4	663	宗谷	4	64
胆振	11	12,050	ホーツク	9	2,235
日高	5	24,516	十勝	1	110
渡島	8	9,970	釧路	0	0
檜山	0	245	根室	6	733
			合計	50	62,610

・平成 30 年度の発掘調査の概要は→

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h30gaiyou.htm>

(5) 平成 30 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	1	0	17	17	3	38
法第 94 条	0	12	31	11	1	55

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(6) 平成 30 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	0	0	0	0
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(7) 平成 30 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道教育委員会	49	1	50	1,556
政令市・中核市	1	16	17	433

(8) 平成 30 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	20	54	875

※ 箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cm に換算したものです。

3 その他

(1) 北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画）（改定版平成 25 年 3 月）

基本目標 5 北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向 11 文化・芸術活動の推進

施策項目 3 6 文化財の保存・活用

● 現状

道内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財[®]が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するためには欠かせないものであり、道民の共有財産です。これらの文化財は過疎化や少子高齢化など時代の推移により、保存や伝承が困難となっているものもことから、次の世代に確実に守り伝えていくことが重要な課題です。

このような中、文化財の保存・活用や、アイヌ民俗文化財[®]の調査・保存・伝承活動、世界遺産[®]登録へ向けた北東北3県と連携した取組などの推進を図ってきました。

このうち、「世界遺産登録へ向けた取組」では、内浦湾沿岸の縄文遺跡群が「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、ユネスコの世界遺産暫定リスト[®]に記載されたところであり、今後は、関係自治体と連携し、推薦書案の作成や国際会議を実施するなど、登録に向けた取組を積極的に推進していく必要があります。

先人が大切に守り継いできた貴重な文化財の数々を次の世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの責任であり、今後とも、多くの人々が文化財の素晴らしさを知り、保護の大切さを学び、共通理解のもと、将来にわたって継承していく環境の整備に努めていく必要があります。

● 施策の概要

本道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、アイヌ民俗文化財の保存・伝承の取組を着実に推進します。

また、世界遺産登録の実現をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財情報の発信に取り組みます。

● 施策の対応方向及び主な取組

施策の対応方向	主な取組
■ 文化財の調査・保存・活用の推進 ① 有形・無形の文化財、史跡 [®] ・名勝 [®] ・天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未指定文化財の調査 ・ 文化財の指定・登録の推進 ・ 文化財の現状把握 ・ 文化財の保存整備
■ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 ① アイヌの人たちが北国の風土に根ざして育んできた文化は、本道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた豊かな知恵や経験は貴重な財産と言えます。有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組みるとともに、保存・伝承活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイヌ民俗文化財調査や翻訳の推進 ・ 伝承者の養成や地域住民の理解促進のための講座の実施
■ 世界遺産登録へ向けた取組の推進 ① 国指定史跡の縄文遺跡群や大規模竪穴住居跡群を人類共通の宝として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産 [®] への登録へ向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4道県（北海道・青森・秋田・岩手）共同での国際的合意形成に向けた国際会議の開催
■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 ① 貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道文化財保護強調月間[®]における文化財公開等の促進 ・ 小・中学生向けのニュースレターの発行

● 目標指標

指標	指標の概要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H 2 3 312件	H 2 9 330件
文化財の保存・活用への取組状況	北海道文化財保護強調月間(10月8日～11月7日)に、指定文化財が所在する市町村のうち「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合	H 2 4 33.1%	H 2 9 50%
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	H 2 3 2,434人	H 2 9 2,500人

(2) 平成 30 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。

この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

・申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ

直通電話：(011)204-5749 FAX：(011) 232-1076

平成 30 年度は次のとおり開催しました。

開催年月日	時間	場所	審議内容
平成 30 年 9 月 18 日(火)	14:00 ～16:15	北海道庁別館 8 階会議室	・文化財の指定(登録)の状況について ・道指定文化財の指定に向けた取組について ・道指定文化財の諮問に対する答申について
平成 31 年 3 月 5 日(火)	14:00 ～16:45	道庁赤れんが庁 舎 2 階 2 号会議 室	・文化財の指定(登録)の状況について ・平成 31 年度文化財保護関係事業の概要について ・道指定文化財の指定に向けた取組について ・道指定文化財の諮問に対する答申について

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

[任期：平成 30 年 7 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日]

氏名	所属等
乾 淑 子	美術史家
大 原 雅	北海道大学大学院環境科学院長
大 原 昌 宏	北海道大学総合博物館教授
児 島 恭 子	札幌学院大学教授
小 杉 康	北海道大学大学院教授
澤 村 寛	足寄動物化石博物館館長
白 木 彩 子	東京農業大学生物産業学部准教授
鈴 木 幸 人	北海道大学大学院准教授
角 美 弥 子	北海道教育大学岩見沢校准教授
瀬 川 拓 郎	札幌大学教授
中 村 和 之	函館工業高等専門学校特任教授
羽 深 久 夫	札幌市立大学教授
森 雅 人	札幌大谷大学教授
佐 藤 肇	北海道開発局開発監理部長
石 橋 岳 志	北海道森林管理局計画保全部長

・北海道文化財保護審議会について→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 30 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 30 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 30 年 6 月 22 日(金)	10 : 00 ~ 15 : 00	道庁別館地下 1 階大会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 30 年 8 月 24 日(金)	10 : 00 ~ 15 : 00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室 (旭川市永山 6 条 19 丁目)
平成 30 年 11 月 22 日(木)	10 : 00 ~ 15 : 00	道庁別館地下 1 階大会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 31 年 2 月 18 日(月)	10 : 00 ~ 15 : 00	道庁別館地下 1 階大会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員

[任期：平成 30 年 6 月 1 日～令和 2 年 5 月 31 日]

銃砲刀剣類登録審査委員	審 査 会 場
梶 睦	札幌(11 月、2 月)
川 合 喜與文	札幌(6 月、2 月)
堀 井 重 克	旭川(8 月)、札幌(2 月)
石 井 利 明	札幌(6 月、11 月)
野 波 明 利	札幌(6 月)、旭川(8 月)、札幌(11 月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

① 入館者

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	1005	1485	1554	1107	1518	726	912	944	616	724	480	939	12,010

② 資料等の閲覧・貸出等件数

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	7	10	8	6	5	5	2	7	6	8	9	23	96

③ 事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成29年度発掘調査報告会	平成30年4月14日	65人
	春季講演会（特別講演会に変更）	平成30年10月13日	106人
	秋季講演会	平成30年11月24日	73人
考古学講座 考古学講座	考古学を知る・学ぶ 2	平成30年7月21日	52人
	考古学を知る・学ぶ 4	平成30年10月27日	18人
	考古学を知る・学ぶ 5	平成30年11月24日	73人
	考古学を知る・学ぶ 6	平成31年1月26日	87人
	考古学を知る・学ぶ 7	平成31年3月16日	90人
体験型講座	親子ガラス玉づくり教室	平成30年6月2日	14人
	まいぶん遺跡探検隊 第1次	平成30年8月4日	13人
	まいぶん遺跡探検隊 第2次	平成30年8月11日	17人
	まいぶん遺跡探検隊 第3次	平成31年1月5日	22人
	まいぶん遺跡探検隊 第4次	平成31年1月12日	13人
研修会	平成30年度埋蔵文化財担当職員研修会Ⅰ	平成30年12月6日	26人
	平成30年度埋蔵文化財担当職員研修会Ⅱ	平成30年12月7日	42人

① 平成30年度テーマ展日程

	展 示 名	展示期間
1	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成29年度発掘調査成果展	平成30年4月1日～5月29日
2	「北の縄文 続縄文文化の墓」展	平成30年7月7日～9月30日
3	北海道遺跡百選11 「写真でたどる 北海道埋蔵文化財センターの調査」展	平成30年12月1日～31年2月24日
4	世界遺産をめざす北の縄文展	通 年

② 平成 30 年度考古学教室出前講座一覧

[事業分]

市町村	実施場所	実施日	参加人数
福島町	福島町吉岡総合センター	平成 30 年 6 月 9 日	22 名
礼文町	礼文町町民活動総合センターピスカ 21	平成 30 年 7 月 26 日	27 名
厚岸町	厚岸町立真龍小学校	平成 30 年 7 月 28 日	19 名
せたな町	せたな町ふれあいプラザ	平成 30 年 9 月 2 日	23 名
岩内町	岩内地方文化センター	平成 30 年 9 月 7 日	49 名
雨竜町	雨竜町公民館	平成 30 年 9 月 29 日	26 名
京極町	京極町湧学館	平成 30 年 10 月 27 日	6 名
羽幌町	羽幌町立中央公民館	平成 30 年 11 月 10 日	25 名
真狩村	真狩村公民館	平成 30 年 11 月 14 日	20 名
興部町	興部町公民館	平成 30 年 11 月 17 日	15 名
妹背牛町	妹背牛町公民館	平成 31 年 1 月 16 日	13 名
旭川市	旭川市博物館	平成 31 年 2 月 10 日	26 名

(7) 平成 30 年度北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会

北海道教育委員会では、北海道東部に所在する竪穴群について基礎的な情報や現状の把握を目的に「北海道東部の竪穴住居跡群調査」を計画し、平成 27 年度から 29 年度まで第 1 次調査を実施しました。そして、この調査成果をふまえて、平成 30 年度から 4 カ年計画で第 2 次調査を引き続き実施しています。

また、竪穴群調査の適切な実施や竪穴群の保存活用の推進を目的として、平成 28 年度からは、有識者や竪穴群調査の関係者が意見交換を行う「北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会」を開催しています。

有識者は、竪穴群の研究・調査経験を有する識者 3 名程度で構成され、懇談会の都度、文化財・博物館課長が会議への出席を依頼します。

懇談会の会議の傍聴については、事前に電話で申し込むか、当日、懇談会の開催予定時刻までに受付で氏名、住所を記入し、座長の許可を受けると傍聴することができます（先着順、10 名以内）。

申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財調査グループ

直通電話：(011)204-5750 FAX：(011)232-1076

平成 30 年度は、次のとおり開催しました。

開催年月日	時 間	場 所	意見交換の内容
平成 30 年 10 月 8 日(月・祝)	13:00 ～ 16:30	北見市常呂町多 目的研修センタ ー1 階小ホール	・北海道東部の竪穴住居跡群調査第 2 次計画に ついて
平成 31 年 3 月 8 日(金)	9:30 ～ 11:30	北海道庁別館西 棟 4 階会議室 6	・擦文文化の集落について ・平成 30 年度重要遺跡確認調査の成果について ・北海道東部の竪穴住居跡群調査第 2 次調査計 画（総合調査）について

(8) 北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会有識者一覧

① 第 1 回北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会

氏 名	所 属 等
A. A. ワシリエフスキー	サハリン国立大学考古学・民族誌学研究所教授
佐 藤 宏 之	東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室教授
福 田 正 宏	東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室准教授
熊 木 俊 朗	東京大学大学院人文社会系研究科准教授

② 第 2 回北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会

氏 名	所 属 等
瀬 川 拓 郎	札幌大学教授
熊 木 俊 朗	東京大学大学院人文社会系研究科教授
高 瀬 克 範	北海道大学大学院文学研究科准教授
天 野 哲 也	北海道大学総合博物館研究員
澤 井 玄	北海学園大学非常勤講師

・北海道東部の竪穴住居跡群調査 第 2 次調査について

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/chousa-dainiji.htm>

(9) 文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主な内容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (年 4 回更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm
出土文化財を 見ることのできる 主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニュースレター形式で分かりやすく解説したものです。年 5 回程度発行しています。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazaimaruchinabi.htm
平成 29 年度北海道文化財年報	平成 30 年 7 月 10 日	平成 29 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/H29nennhouz.pdf
平成 30 年度文化財保護 強調月間	平成 30 年 9 月 28 日	北海道文化財強調月間（10 月 8 日～11 月 7 日）期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm
市町村における発掘調査の概要 (平成 30 年度版)	平成 31 年 3 月 31 日	平成 30 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h30gaiyou.htm
「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
		URL : https://jomon-japan.jp/
北海道の竪穴群	平成 28 年 10 月 11 日～ (随時更新)	「北海道東部の竪穴住居跡群調査」・「北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会」の内容や竪穴群に関する説明資料・海外の文献等を公開しています。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/portal.htm

(10) 文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部文化局文化振興課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/index.htm
3	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/
4	一般財団法人北海道文化財保護協会	http://hokkaido-bunkazai.jp/